

# 自己診断チェックリスト(大学・短期大学編) 2023年度版

① この「自己診断チェックリスト」は、学校法人が自らの経営状態の問題点を発見し、取り組み課題を早期に認識するために作成するチェックリストです。ただし、ここで挙げている項目と内容は1つの参考例であり、各学校法人がこれを基礎に適宜、修正追加するなど、更に実態にあった分析を行うことが望まれます。

② 「自己診断チェックリスト」は以下の2種類で構成されます。

## 「1. 財務比率等に関するチェックリスト」

財務比率等の数値データによる定量的な判断を行うためのもの

(1) 収支状況を「Ⅰ事業活動収支状況(法人全体)」と「Ⅱ活動区分資金収支状況」でチェックします。

収支が赤字であれば、過去の運用資産の蓄えが十分かを「Ⅲ運用資産の状況」でチェックし、収支が黒字であれば、外部負債が返済可能な程度かを「Ⅳ外部負債状況」でチェックします。以上により、学校法人の経営状態を認識することを目的としています。なお、「Ⅴ事業活動収支状況(学校単位)」、「Ⅵ学生数関係」、「Ⅶ教職員関係」、「Ⅷ経費関係」では、収支を構成する要因を学校単位で分析することにより、収支を悪化させている原因等の把握と改善すべき点を明らかにすることを目的としています。

(2) 各比率ごとに、「絶対評価」、「趨勢評価」、「相対評価」の3つの観点から評価を行います。

【絶対評価】指標ごとの適正值や法人自ら設定した目標値を基に、その達成度を5段階(2、4、6、8、10)で評価します。

絶対評価は原則、各学校法人で目標値を設定することが望ましく、法人の財務戦略や過去のデータに示した系統別の平均値などを参考に適切な数値を設定します。また、望ましい値がある比率については、具体的に示しています。

【趨勢評価】4年前と比較して現在の数値が改善したか否かを5段階(2、4、6、8、10)で評価します。

原則として、率により判定している項目は「増減」で、実数で判定しているものは「伸び率(%)」で評価します。

【相対評価】全法人(学校)の中での自法人(学校)の位置を財務比率等の階層区分に応じ10の階層(1～10)に分けて評価します。

## 「2. 管理運営等に関するチェックリスト」

学校法人の管理運営等についての定性的な判断を行うためのもの

「1. ガバナンスの確立」、「2. 経営理念と戦略の策定」、「3. 組織運営の円滑化」、「4. リスク管理体制の構築」、「5. 財務体質の改善」、「6. 教学内容の改善」、「7. 学生への支援」、「8. 情報の公表と地域貢献」の8区分について学校法人が本来実施すべき、ポイント項目を全部で53項目用意して一覧表にしたものです。この53項目の一つひとつについて自法人ではどの項目が当てはまらないのかを確認することで問題の把握と改革の糸口を見つけ出すことができます。チェック欄に「○」が付かない項目については、早めにその原因を分析し、改善策を検討することをお勧めします。

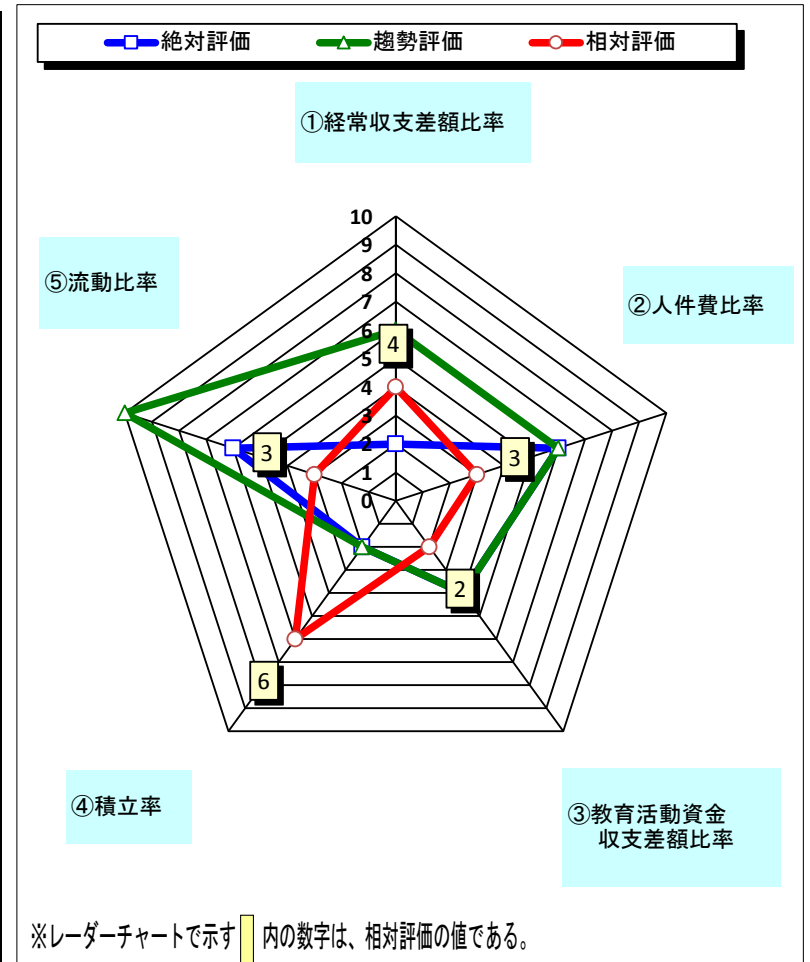
③ 絶対評価、趨勢評価で「4」や「2」又は相対評価で「4」以下の評価が多かった場合、あるいは管理運営等に関するチェックリストで問題が明確になった場合には、自ら改善の取り組みを進めるとともに、更に悪化する前に、日本私立学校振興・共済事業団等に相談する等の対応が望まれます。

### 1-1 財務比率等に関するチェックリスト(法人全体)

#### 総括表

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	伸び率 /2018 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
<b>I 事業活動収支状況(法人全体)</b>										
1. 経常収支差額比率	-2.7%	-0.1%	-2.7%	-8.2%	-3.3%	-0.6P		2	6	4
2. 人件費比率	61.7%	56.3%	60.4%	61.5%	59.9%	-1.8P		6	6	3
3. 人件費依存率	92.4%	82.6%	91.9%	89.3%	88.9%	-3.5P		2	6	4
<b>II 活動区分資金収支状況</b>										
4. 教育活動資金収支差額比率	6.2%	1.2%	-3.3%	4.3%	1.9%	-4.3P		4	4	2
<b>III 運用資産の状況</b>										
5. 積立率	95.4%	66.5%	62.7%	61.1%	70.3%	-25.1P		2	2	6
(参考)減価償却比率	63.9%	64.3%	66.3%	69.1%	66.0%	+2.1P				2
6. 運用資産超過額対教育活動 資金収支差額比(年)	-	-	49.3年	-	-	-	-	-	-	
7. 運用資産対教育活動資金 収支差額比(年)	-	-	49.8年	-	-	-	-	-	-	
<b>IV 外部負債状況</b>										
8. 流動比率	178.5%	164.8%	225.6%	226.1%	197.8%	+19.3P		6	10	3
9. 外部負債超過額対教育活動 資金収支差額比(年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

はレーダーチャートで使用する項目です。



学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

1-2 財務比率等に関するチェックリスト(学校単位)

総括表

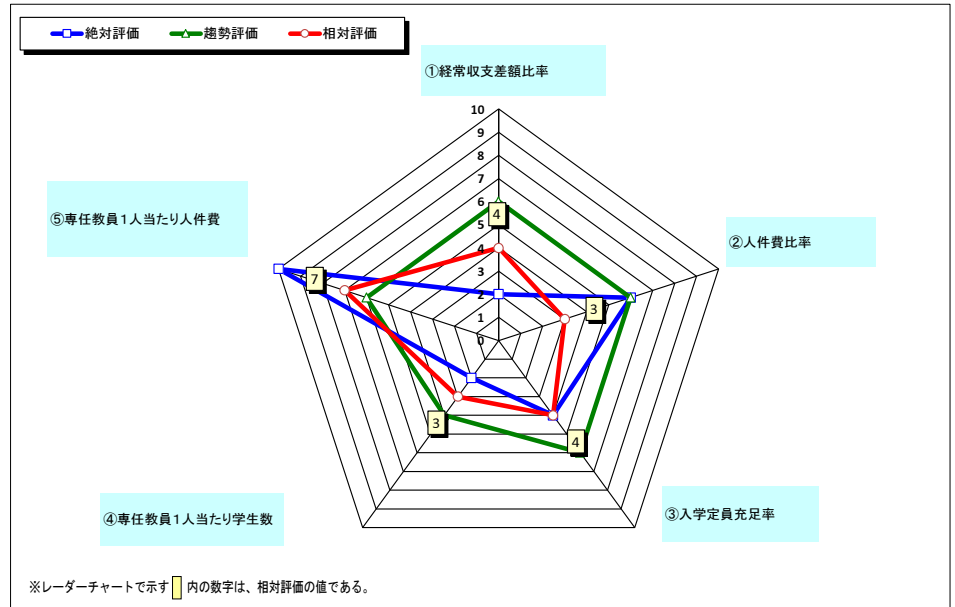
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2022- 2018	伸び率 /2018 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
1.経常収支差額比率	-4.2%	-0.5%	-2.5%	-7.7%	-3.6%		+0.6P		2	6	4
2.人件費比率	60.1%	56.4%	61.2%	60.5%	59.5%		-0.6P		6	6	3

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2023- 2019	伸び率 /2019 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
3.志願倍率		1.83倍	1.41倍	2.01倍	1.90倍	1.84倍	+0.01P		2	6	4
4.合格率		74.1%	80.1%	81.5%	72.5%	72.5%	-1.6P		2	6	6
5.歩留率		68.8%	65.6%	66.6%	71.3%	69.0%	+0.2P		10	6	8
6.推薦割合		58.1%	56.1%	61.0%	57.1%	56.5%	-1.6P		2	6	5
7.入学定員充足率		88.2%	71.3%	102.5%	92.0%	87.6%	-0.6P		4	6	4
8.収容定員充足率		84.5%	83.1%	93.8%	92.0%	87.1%	+2.6P		4	6	3
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2022- 2018	伸び率 /2018 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
9.中途退学者率	5.8%	3.0%	4.2%	4.7%	4.6%		-1.2P		2	10	2
10.奨学費割合	15.5%	15.0%	15.2%	18.4%	16.0%		+0.5P		2	4	1

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2023- 2019	伸び率 /2019 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
11.専任教員1人当たり学生数		13.6人	13.7人	12.3人	12.1人	12.9人	-0.8人	-5.6%	2	4	3
12.専任教員対非常勤教員割合		129.8%	141.1%	118.0%	119.7%	127.1%	-2.7P		2	6	5
11.専任職員1人当たり学生数		35.4人	34.8人	31.3人	33.5人	34.5人	-0.8人	-2.3%	2	6	6
13.専任教員対専任職員割合		38.6%	39.3%	39.3%	36.1%	37.3%	-1.3P		10	6	9
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2022- 2018	伸び率 /2018 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
14.専任教員1人当たり人件費(百万円)	8.4	8.9	9.6	8.6	8.4		0.0	0.5%	10	6	7
14.専任職員1人当たり人件費(百万円)	6.3	6.8	7.0	5.8	6.5		0.3	4.2%	10	6	6

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2022- 2018	伸び率 増減 /2018 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
15.学生1人当たり教育研究経費支出(千円)	444	552	519	536	533		89	20.0%	2	2	3
15.学生1人当たり管理経費支出(千円)	74	96	95	90	92		18	24.6%	10	2	7

はレーダーチャートで使用する項目です。



(参考) 設置学校一覧

【単位】百万円

NO	学校名	経常収入	収入規模	経常支出	経常収支 差額	比率	摘要
1	〇〇学園大学	1,277	49.8%	1,322	-45	-3.5%	
2	〇〇学園短期大学	777	30.3%	822	-45	-5.8%	
3	〇〇学園高等学校	277	10.8%	322	-45	-16.4%	
4	〇〇学園幼稚園	47	1.8%	37	10	22.2%	
5	〇〇学園専門学校	189	7.4%	147	42	22.2%	
6							
7							
法人計		2,566	100.0%	2,649	-83	-3.3%	

部門の収支を分析する上でのポイント

A 経常収支差額比率で部門の収支状況と法人財務への影響度を把握。

B さらに、収入支出を構成する要素(人数と単価)を下記のように分解して、その原因を評価する。

1. 大学は収入の7~8割が学納金、1割が補助金であるため、収入のほとんどが学生数で決まる。  
学生生徒等納付金=人数(学生生徒等数)×単価(授業料等)
2. 支出の5割強は人件費であるため、支出の最重要要素は教職員数である。  
人件費=人数(教職員数)×単価(給与等)

1-1 財務比率等に関するチェックリスト (法人全体)

I 事業活動収支状況 (法人全体)

【比率の意味】

事業活動収支計算書においては、収入支出を教育活動、教育活動外、特別活動の3つに区分して、それぞれの区分における収支バランスが把握できる構造となっておりますが、この比率はそのうち、臨時的な要素を除いた経常的な活動に関する部分に着目した比率です。この比率がプラスで大きいほど経常的な収支は安定していることを示しますが、逆にこの比率がマイナスになる場合は、学校法人の経常的な収支で資産の流出が生じていることを意味するため、将来的な学校法人財政の不安要素となります。マイナスとなった要因が経常的なものか臨時的なものかを把握した上で、支出超過の状況が常態化している様な場合は、学校法人の収支構造の見直しなどを含めた対応策が必要となることも想定されます。

1. 経常収支差額比率

<算定式>

$$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$$

※比率の計算は小数第2位以下を切り上げています。

【単位】百万円

評価表

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
<b>経常収支差額比率(C)/(A)</b>	-2.7%	-0.1%	-2.7%	-8.2%	-3.3%	-0.6P				
経常収入(A)	2,348	2,679	2,853	2,382	2,566	218	9.3%	2	6	4
経常支出(B)	2,410	2,680	2,929	2,576	2,649	239	9.9%			
経常収支差額(C)=(A)-(B)	-62	-2	-76	-194	-83	-21	-34.2%			

点	絶対評価	趨勢評価 (P:ポイント)	点	相対評価
10	2年連続 10%以上	5P以上増加	10	12.4% ~
			9	8.5% ~ 12.3%
8	直近年度10%以上	2.5P以上増加	8	5.6% ~ 8.4%
			7	3.9% ~ 5.5%
6	直近年度 0%以上10%未満	2.5~△2.5P 増減	6	2.0% ~ 3.8%
			5	0.2% ~ 1.9%
4	直近年度0%未満	2.5P以上減少	4	-3.3% ~ 0.1%
			3	-7.9% ~ -3.4%
2	2年連続0%未満	5P以上減少	2	-13.4% ~ -8.0%
			1	~ -13.5%

※相対評価は大学(法人)の値となっています。

1-1 財務比率等に関するチェックリスト (法人全体)

I 事業活動収支状況 (法人全体)

2. 人件費比率

<算定式>

$$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$$

【比率の意味】

経常収入に対する人件費の割合を示した比率です。

人件費は学校における最大の支出要素であることから、この比率が適正水準を超えると経常収支の悪化に繋がる要因ともなります。教職員1人当たり人件費や学生等に対する教職員数等の教育条件等にも配慮しながら、各学校の実態に適った水準を維持する必要があります。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

【単位】百万円

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
人件費比率(D) / (A)	61.7%	56.3%	60.4%	61.5%	59.9%	-1.8P				
経常収入(A)	2,348	2,679	2,853	2,382	2,566	218	9.3%	6	6	3
人件費(D)	1,448	1,508	1,724	1,466	1,536	89	6.1%			

評価表

点	絶対評価	趨勢評価 (P:ポイント)	点	相対評価
10	2年連続50%未満	5P以上減少	10	40.4% ~
			9	45.3% ~ 40.5%
8	直近年度50%未満	2.5P以上減少	8	47.9% ~ 45.4%
			7	50.7% ~ 48.0%
6	直近年度 50%以上60%未満	2.5~△2.5P 増減	6	53.7% ~ 50.8%
			5	56.1% ~ 53.8%
4	直近年度60%以上	2.5P以上増加	4	58.7% ~ 56.2%
			3	62.1% ~ 58.8%
2	2年連続60%以上	5P以上増加	2	67.3% ~ 62.2%
			1	~ 67.4%

※相対評価は大学(法人)の値となっています。

1-1 財務比率等に関するチェックリスト (法人全体)

I 事業活動収支状況 (法人全体)

3. 人件費依存率

<算定式>

人件費

学生生徒等納付金

【比率の意味】

学生生徒等納付金に対する人件費の割合を示した比率です。

この比率は人件費比率及び学生生徒等納付金比率の状況にも影響されます。一般的に人件費は学生生徒等納付金で賄える範囲内に収まっている(比率が100%を超えない)ことが理想的ですが、学校の種類や系統・規模等により、必ずしもこの範囲に収まらない構造となっている場合もある点にご留意ください。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

【単位】百万円

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
人件費依存率(D) / (E)	92.4%	82.6%	91.9%	89.3%	88.9%	-3.5P	/			
人件費(D)	1,448	1,508	1,724	1,466	1,536	89	6.1%	2	6	4
学生生徒等納付金(E)	1,567	1,826	1,876	1,641	1,727	161	10.2%			

評価表

点	絶対評価 目標	趨勢評価 (P-ポイント)	点	相対評価
	70.9%			
10	2年連続 目標達成	10P以上減少	10	54.6% ~
			9	60.8% ~ 54.7%
8	直近年度 は目標達成	5P以上減少	8	65.5% ~ 60.9%
			7	71.5% ~ 65.6%
6	-	5~△5P 増減	6	76.0% ~ 71.6%
			5	83.2% ~ 76.1%
4	直近年度は 目標未達成	5P以上増加	4	90.6% ~ 83.3%
			3	99.3% ~ 90.7%
2	2年連続 目標未達成	10P以上増加	2	123.9% ~ 99.4%
			1	~ 124.0%

※相対評価は大学(法人)の値となっています。

1-1 財務比率等に関するチェックリスト (法人全体)

II 活動区分資金収支状況

4. 教育活動資金収支差額比率

<算定式>

教育活動資金収支差額

教育活動資金収入計

【比率の意味】

教育活動資金収入に対する教育活動資金収支差額の割合を示し、学校法人における本業である「教育活動」でキャッシュフローが生み出せているかを測る比率です。比率はプラスであることが望ましいですが、財務活動や収益事業収入を主な財源とする「その他の活動」でキャッシュフローを生み出し、教育研究活動の原資としている場合もあり得るため、「その他の活動」の収支状況を併せて確認する必要があります。

※比率の計算は小数第2位以下を切り上げています。

【単位】百万円 評価表

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	点	絶対評価	趨勢評価 (P:ポイント)	点	相対評価
<b>教育活動資金収支差額比率(I) / (F)</b>	6.2%	1.2%	-3.3%	4.3%	1.9%	-4.3P					10	2年連続 20%以上	5P以上増加	10	22.1% ~
											9			9	18.3% ~ 22.0%
教育活動資金収入※1)計(F)	2,334	2,660	2,831	2,359	2,546	212	9.1%				8	直近年度 20%以上	2.5P以上増加	8	15.5% ~ 18.2%
											7			7	13.3% ~ 15.4%
教育活動資金支出※2)計(G)	2,221	2,492	2,702	2,382	2,449	228	10.3%	4	4	2	6	直近年度 10%以上20%未満	2.5~△2.5P 増減	6	11.2% ~ 13.2%
											5			5	8.3% ~ 11.1%
教育活動調整勘定等※3)計(H)	31	-137	-220	124	-50	-81	-262.5%				4	直近年度 10%未満	2.5P以上減少	4	5.7% ~ 8.2%
											3			3	2.1% ~ 5.6%
教育活動資金収支差額(I)=(F)-(G)+(H)	144	32	-92	101	46	-98	-67.9%				2	2年連続 0%未満	5P以上減少	2	-3.4% ~ 2.0%
											1			1	~ -3.5%

※1) 教育活動資金収入=学納金収入+手数料収入+特別寄付金収入+一般寄付金収入+経常費等補助金収入+付随事業収入+雑収入

※相対評価は大学(法人)の値となっています。

※2) 教育活動資金支出=人件費支出+教育研究経費支出+管理経費支出

※3) 教育活動調整勘定等: 教育活動による調整勘定に関連する資金収入及び資金支出を相互に加減した額



1-1 財務比率等に関するチェックリスト (法人全体)

Ⅲ 運用資産の状況

【比率の意味】

5. 積立率

<算定式>

運用資産 (特定資産+有価証券+現金預金)

要積立額 (退引+2号+3号+減価)

学校法人の経営を持続的かつ安定的に継続するために必要となる運用資産の保有状況を表します。この比率では、長期的に必要な資金需要の典型的なものとして、施設設備の取替更新と退職金支払に焦点をあてており、要積立額を有形固定資産の減価償却累計額、退職給与引当金、第2号基本金、第3号基本金の合計額としています。その一方で運用資産の内容は、学校法人ごとに特定資産の用途の指定状況が一樣ではないことから、換金可能な金融資産、すなわち特定資産、有価証券（固定資産及び流動資産）、現金預金の合計額と幅広く捉えています。

そのため算定式の分子・分母に用途の異なる要素が混在することとなりますが、ここでは学校法人全体の財政状況の全体的な把握を主眼に置いており、個別目的に対応した資産の保有状況を測るものではありません。一般的には比率は高い方が望ましいですが、例えば学校法人の将来計画において部門の規模縮小や廃止等が予定されている場合には、その分の施設設備の取替更新等が不要となるため、算定式から不要分にかかる要素を除外して試算してみる等、この算定式から得られる結果のみに捉われず、各学校法人の状況に応じた試算を併用することも比率の活用の上では重要です。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

【単位】百万円 評価表

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	点	絶対評価	趨勢評価 (P:ポイント)	点	相対評価	
															積立率	減価償却比率※
<b>積立率(J) / (N)</b>	95.4%	66.5%	62.7%	61.1%	70.3%	-25.1P										
<b>運用資産※1) (J)</b>	5,471	4,291	4,566	4,204	4,633	-838	-15.3%	2	2	6	10	2年連続 100%以上	10P以上増加	10	116.4% ~	43.7% ~
特定資産	4,016	2,789	3,135	2,862	3,200	-815	-20.3%							9	99.4% ~ 116.3%	47.9% ~ 43.8%
有価証券(固定資産)(K)	330	481	131	0	236	-95	-28.6%							8	89.6% ~ 99.3%	51.5% ~ 48.0%
有価証券(流動資産)(L)	0	0	0	0	0	0	-							7	76.6% ~ 89.5%	53.8% ~ 51.6%
現金預金(M)	1,125	1,021	1,300	1,342	1,197	72	6.4%							6	67.8% ~ 76.5%	56.8% ~ 53.9%
														5	55.8% ~ 67.7%	58.6% ~ 56.9%
<b>要積立額※2) (N)</b>	5,734	6,451	7,280	6,885	6,587	854	14.9%				4	直近年度 100%未満	5P以上減少	4	45.7% ~ 55.7%	61.2% ~ 58.7%
退職給与引当金(O)	32	24	25	21	25	-7	-21.5%							3	34.0% ~ 45.6%	64.0% ~ 61.3%
第2号基本金(P)	1,398	1,615	1,849	1,800	1,665	268	19.2%							2	20.8% ~ 33.9%	68.5% ~ 64.1%
第3号基本金(Q)	15	16	18	16	16	1	9.1%							1	~ 20.7%	~ 68.6%
減価償却累計額	4,289	4,796	5,388	5,049	4,880	592	13.8%									
<b>参考) 減価償却比率(R) / (S)</b>	63.9%	64.3%	66.3%	69.1%	66.0%	+2.1P										
減価償却累計額(図書を除く有形固定資産)(R)	4,289	4,796	5,388	5,049	4,880	592	13.8%									
減価償却資産取得価額(図書を除く有形固定資産)※3) (S)	6,707	7,463	8,125	7,306	7,400	693	10.3%									

※1) 運用資産＝特定資産＋有価証券＋現金預金  
 ※2) 要積立額＝退職給与引当金＋第2号基本金＋第3号基本金＋減価償却累計額  
 参考) 減価償却比率

減価償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合です。建物・設備等の有形固定資産を中心とする減価償却資産は、耐用年数に応じて減価償却されますが、固定資産の取得価額と未償却残高との差額である償却累計額が、取得価額に対してどの程度を占めているかを測る比率です。資産の取得年次が古いほど、又は耐用年数を短期間に設定しているほどこの比率は高くなります。なお、設立から間もない学校法人では固定資産の償却が開始したばかりであるため、特に低い値となります。

※3) 減価償却資産取得価額(図書を除く有形固定資産)＝減価償却対象有形固定資産簿価(建物、構築物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、車両、その他有形固定資産の貸借対照表計上額)＋当該資産にかかる減価償却累計額の合計



1-1 財務比率等に関するチェックリスト (法人全体)

Ⅲ 運用資産の状況

6. 運用資産超過額対教育活動資金収支差額比 (年)

(教育活動資金収支差額がマイナス、かつ運用資産超過額がプラスの時のみ)

<算定式>

$$\frac{\text{運用資産超過額}}{\text{教育活動資金収支差額}}$$

【比率の意味】

学校法人の本業である教育活動による収支の結果がマイナスの状態の場合に、返済すべき外部負債を除いた運用資産（運用資産超過額）が蓄積された割合を示した比率です。教育活動資金収支差額がマイナスの場合では、「その他の活動」でプラスを生み出せなければ、過去の蓄積である運用資産を取り崩すこととなります。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

【単位】百万円

評価表

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
運用資産超過額対教育活動資金 収支差額比(W) / (I)	-	-	49.3年	-	-	-	-			
運用資産※1 (J)	5,471	4,291	4,566	4,204	4,633	-838	-15.3%			
外部負債※2 (T)	60	57	43	31	48	-12	-20.6%	-	-	
運用資産超過額(W)=(J)-(T)	5,411	4,234	4,522	4,173	4,585	-826	-15.3%			
教育活動資金収支差額(I)	144	32	-92	101	46	-98	-67.9%			

点	絶対評価※3)	趨勢評価	点	相対評価
10	2年連続 4年以上 (2年)	10%以上増加	10	~
			9	~
8	直近年度 4年以上 (2年)	5%以上増加	8	~
			7	~
6	-	5~△5% 増減	6	~
			5	~
4	直近年度 4年未満 (2年)	5%以上減少	4	~
			3	~
2	2年連続 4年未満 (2年)	10%以上減少	2	~
			1	~

※1) 運用資産 = 特定資産 + 有価証券 + 現金預金

※2) 外部負債 = 借入金 + 学校債 + 未払金 + 手形債務

なお、教育活動資金収支差額がマイナス、かつ運用資産超過額がプラスの時に値が表示されます。

※3) 短大法人の絶対評価は ( ) 内の数値になります。  
4年以上⇒2年以上、4年未満⇒2年未満

1-1 財務比率等に関するチェックリスト (法人全体)

Ⅲ 運用資産の状況

7. 運用資産対教育活動資金収支差額比 (年)  
(教育活動資金収支差額がマイナスの時のみ)

<算定式>

$$\frac{\text{運用資産}}{\text{教育活動資金収支差額}}$$

【比率の意味】

学校法人の本業である教育活動による収支の結果がマイナスの状態の場合に、運用資産が蓄積された割合を示した比率です。教育活動資金収支差額がマイナスの場合では、「その他の活動」でプラスを生み出せなければ、過去の蓄積である運用資産を取り崩すこととなります。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

【単位】百万円

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
運用資産対教育活動資金 収支差額比(J) / (I)	-	-	49.8年	-	-	-	-			
運用資産※1) (J)	5,471	4,291	4,566	4,204	4,633	-838	-15.3%	-	-	
教育活動資金収支差額(I)	144	32	-92	101	46	-98	-67.9%			

評価表

点	絶対評価※2)	趨勢評価	点	相対評価
10	2年連続 4年以上 (2年)	10%以上増加	10	~
			9	~
8	直近年度 4年以上 (2年)	5%以上増加	8	~
			7	~
6	-	5~△5% 増減	6	~
			5	~
4	直近年度 4年未満 (2年)	5%以上減少	4	~
			3	~
2	2年連続 4年未満 (2年)	10%以上減少	2	~
			1	~

※1) 運用資産 = 特定資産 + 有価証券 + 現金預金

なお、教育活動資金収支差額がマイナスの時に値が表示されます。

※2) 短大法人の絶対評価は ( ) 内の数値になります。  
4年以上⇒2年以上、4年未満⇒2年未満

1-1 財務比率等に関するチェックリスト (法人全体)

IV 外部負債状況

8. 流動比率

<算定式>

$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$$

【比率の意味】

流動負債に対する流動資産の割合を示した比率です。

1年以内に償還又は支払わなければならない流動負債に対して、現金預金又は1年以内に現金化が可能な流動資産がどの程度用意されているかという、学校法人の資金流動性すなわち短期的な支払い能力を判断する重要な指標の1つです。一般に金融機関等では、この比率が200%以上であれば優良とみなしています。100%を下回っている場合には、流動負債を固定資産に投下していることが多く、資金繰りに窮していると考えられます。

ただし、学校法人にあっては、流動負債には外部負債とは性格を異にする前受金の比重が大きいことや、流動資産には企業のように多額の「棚卸資産」がなく、ほとんど当座に必要な現金預金であること、さらに、資金運用の点から、長期有価証券へ運用替えしている場合もあり、また、将来に備えて引当特定資産等に資金を留保している場合もあるため、必ずしもこの比率が低くなると資金繰りに窮しているとは限らないのでご注意ください。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

【単位】百万円 評価表

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	点	絶対評価	趨勢評価 (P:ポイント)	点	相対評価
											10	2年連続 200%以上	10P以上増加	10	661.7% ~ 476.8% ~ 661.6%
<b>流動比率(U) / (V)</b>	178.5%	164.8%	225.6%	226.1%	197.8%	+19.3P	/				8	直近年度 200%以上	5P以上増加	8	388.5% ~ 476.7% 324.4% ~ 388.4%
流動資産(U)	1,230	1,164	1,521	1,432	1,337	107	8.7%	6	10	3	6	直近年度 100%以上200%未満	5~△5P 増減	6	275.6% ~ 324.3% 238.1% ~ 275.5%
流動負債(V)	689	706	674	633	676	-13	-1.9%				4	直近年度 100%未満	5P以上減少	4	200.1% ~ 238.0% 153.4% ~ 200.0%
											2	2年連続 100%未満	10P以上減少	2	111.7% ~ 153.3% ~ 111.6%

※相対評価は大学(法人)の値となっています。

1-1 財務比率等に関するチェックリスト (法人全体)

IV 外部負債状況

9. 外部負債超過額対教育活動資金収支差額比 (年)

(教育活動資金収支差額がプラス、かつ外部負債超過額がプラスの時のみ)

<算定式>

$$\frac{\text{外部負債超過額}}{\text{教育活動資金収支差額}}$$

【比率の意味】

運用資産をすべて外部負債の返済に回すと仮定して、残った外部負債を教育活動資金収支差額のプラス分で何年で返済可能かを計算します。教育活動資金収支差額がプラスの場合でも、超過した外部負債の返済に10年超かかる状態は外部負債が過大であるとみなすことができます。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

【単位】百万円

評価表

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
外部負債超過額対教育活動資金収支差額比 (X) / (I)	-	-	-	-	-	-	-			
運用資産※1 (J)	5,471	4,291	4,566	4,204	4,633	-838	-15.3%			
外部負債※2 (T)	60	57	43	31	48	-12	-20.6%	-	-	
外部負債超過額 (X) = (T) - (J)	-5,411	-4,234	-4,522	-4,173	-4,585	826	15.3%			
教育活動資金収支差額 (I)	144	32	-92	101	46	-98	-67.9%			

点	絶対評価	趨勢評価	点	相対評価
10	2年連続 10年以内	10%以上減少	10	~
			9	~
8	直近年度 10年以内	5%以上減少	8	~
			7	~
6	-	5~△5%増減	6	~
			5	~
4	直近年度 10年超	5%以上増加	4	~
			3	~
2	2年連続 10年超	10%以上増加	2	~
			1	~

※1) 運用資産 = 特定資産 + 有価証券 + 現金預金

※2) 外部負債 = 借入金 + 学校債 + 未払金 + 手形債務

なお、教育活動資金収支差額がプラス、かつ外部負債超過額がプラスの時に値が表示されます。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

## 1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

### V 事業活動収支状況 (学校単位)

#### 【比率の意味】

事業活動収支計算書においては、収入支出を教育活動、教育活動外、特別活動の3つに区分して、それぞれの区分における収支バランスが把握できる構造となっておりますが、この比率はそのうち、臨時的な要素を除いた経常的な活動に関する部分に着目した比率です。この比率がプラスで大きいほど経常的な収支は安定していることを示しますが、逆にこの比率がマイナスになる場合は、学校法人の経常的な収支で資産の流出が生じていることを意味するため、将来的な学校法人財政の不安要素となります。マイナスとなった要因が経常的なものか臨時的なものを把握した上で、支出超過の状況が常態化している様な場合は、学校法人の収支構造の見直しなどを含めた対応策が必要となることも想定されます。

#### 1. 経常収支差額比率

<算定式>

$$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$$

※比率の計算は小数第2位以下を切り上げています。

【単位】百万円

評価表

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
<b>経常収支差額比率(c) / (a)</b>	-4.2%	-0.5%	-2.5%	-7.7%	-3.6%	+0.6P	/			
経常収入(a)	1,128	1,353	1,414	1,211	1,277	149	13.2%	2	6	4
経常支出(b)	1,175	1,359	1,448	1,305	1,322	146	12.5%			
経常収支差額(c)=(a)-(b)	-47	-7	-34	-93	-45	2	4.4%			

点	絶対評価	趨勢評価 (P:ポイント)	点	相対評価
10	2年連続 10%以上	5P以上増加	10	17.0% ~
			9	13.1% ~ 16.9%
8	直近年度 10%以上	2.5P以上増加	8	9.8% ~ 13.0%
			7	6.9% ~ 9.7%
6	直近年度 0%以上10%未満	2.5~△2.5P 増減	6	4.3% ~ 6.8%
			5	1.4% ~ 4.2%
4	直近年度 0%未満	2.5P以上減少	4	-3.6% ~ 1.3%
			3	-10.1% ~ -3.7%
2	2年連続 0%未満	5P以上減少	2	-22.8% ~ -10.2%
			1	~ -22.9%

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

## 1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

### V 事業活動収支状況 (学校単位)

#### 2. 人件費比率

<算定式>

$$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$$

#### 【比率の意味】

経常収入に対する人件費の割合を示した比率です。

人件費は学校における最大の支出要素であることから、この比率が適正水準を超えると経常収支の悪化に繋がる要因ともなります。教職員1人当たり人件費や学生等に対する教職員数等の教育条件等にも配慮しながら、各学校の実態に適った水準を維持する必要があります。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

【単位】百万円

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
人件費比率(d) / (a)	60.1%	56.4%	61.2%	60.5%	59.5%	-0.6P	/			
経常収入(a)	1,128	1,353	1,414	1,211	1,277	149	13.2%	6	6	3
人件費(d)	678	764	865	732	760	82	12.0%			

評価表

点	絶対評価	趨勢評価 (P-ポイント)	点	相対評価
10	2年連続 50%未満	5P以上減少	10	39.4% ~
			9	42.9% ~ 39.5%
8	直近年度 50%未満	2.5P以上減少	8	45.6% ~ 43.0%
			7	47.9% ~ 45.7%
6	直近年度 50%以上60%未満	2.5~△2.5P 増減	6	50.7% ~ 48.0%
			5	52.8% ~ 50.8%
4	直近年度 60%以上	2.5P以上増加	4	55.8% ~ 52.9%
			3	61.3% ~ 55.9%
2	2年連続 60%以上	5P以上増加	2	69.3% ~ 61.4%
			1	~ 69.4%

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

## 1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

### VI 学生数関係

#### 3. 志願倍率 (倍)

<算定式>

$$\frac{\text{志願者数}}{\text{入学定員}}$$

#### 【比率の意味】

学則に定められた入学定員に対する志願者数の倍率を示した比率です。  
 志願倍率は入学志願動向の重要な指標であり、入学検定料収入に影響を与えます。志願倍率の高低は地域や学部系統等によって異なります。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2023- 2019	対2019年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	
<b>志願倍率 (e) / (f)</b>	1.83倍	1.41倍	2.01倍	1.90倍	1.84倍	+0.01P	/	2	6	4	
志願者数 (e)	421人	325人	401人	380人	402人	-19人					-4.5%
入学定員 (f)	230人	230人	200人	200人	218人	-12人					-5.2%

評価表

点	絶対評価※	趨勢評価※ (P-ポイント)	点	相対評価 (倍)
10	2年連続 5倍以上 (2倍)	0.5P以上増加 (0.3P)	10	9.53 ~
			9	6.17 ~ 9.52
8	2年連続 2.5倍以上 (1.5倍)	0.3P以上増加 (0.2P)	8	4.12 ~ 6.16
			7	2.94 ~ 4.11
6	直近年度 2.5倍以上 (1.5倍)	0.3~△0.3P 増減 (0.2~△0.2P)	6	2.40 ~ 2.93
			5	1.94 ~ 2.39
4	直近年度 2.5倍未満 (1.5倍)	0.3P以上減少 (0.2P)	4	1.65 ~ 1.93
			3	1.35 ~ 1.64
2	2年連続 2.5倍未満 (1.5倍)	0.5P以上減少 (0.3P)	2	1.01 ~ 1.34
			1	~ 1.00

※短大の絶対評価、趨勢評価は ( ) 内の数値になります。

※相対評価は大学 (学校) の値となっています。



学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

## 1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

### VI 学生数関係

#### 4. 合格率

<算定式>

$$\frac{\text{合格者数}}{\text{受験者数}}$$

【比率の意味】

受験者数に対する合格者数の割合を示した比率です。

ここでは適正な競争が実施された方が好ましいという観点から低い方を高評価としています。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2023- 2019	対2019年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
<b>合格率(g) / (h)</b>	74.1%	80.1%	81.5%	72.5%	72.5%	-1.6P	/			
合格者数(g)	295人	250人	308人	258人	277人	-18人	-6.1%	2	6	6
受験者数(h)	398人	312人	378人	356人	382人	-16人	-4.0%			

評価表

点	絶対評価 目標	趨勢評価) (P:ポイント)	点	相対評価
	53.8%			
10	2年連続 目標達成	10P以上減少 (5P)	10	35.2% ~
			9	49.5% ~ 35.3%
8	直近年度 目標達成	5P以上減少 (3P)	8	59.5% ~ 49.6%
			7	69.6% ~ 59.6%
6	-	5~△5P 増減 (3~△3P)	6	78.2% ~ 69.7%
			5	86.0% ~ 78.3%
4	直近年度 目標未達成	5P以上増加 (3P)	4	90.0% ~ 86.1%
			3	94.8% ~ 90.1%
2	2年連続 目標未達成	10P以上増加 (5P)	2	97.7% ~ 94.9%
			1	~ 97.8%

※短大の趨勢評価は ( ) 内の数値になります。

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

VI 学生数関係

5. 歩留率

<算定式>

$$\frac{\text{入学者数}}{\text{合格者数}}$$

【比率の意味】

合格者数に対し、他校に流出せずに自校に入学した学生数の割合を示した比率です。  
ここでは比率が高い方を高評価としています。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2023- 2019	対2019年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	
歩留率(i)/(g)	68.8%	65.6%	66.6%	71.3%	69.0%	+0.2P	/	10	6	8	
入学者数(i)	203人	164人	205人	184人	191人	-12人					-5.9%
合格者数(g)	295人	250人	308人	258人	277人	-18人					-6.1%

評価表

点	絶対評価 目標	趨勢評価※ (P:ポイント)	点	相対評価
	39.3%			
10	2年連続 目標達成	10P以上増加 (5P)	10	82.8% ~
			9	73.9% ~ 82.7%
8	直近年度 目標達成	5P以上増加 (3P)	8	66.7% ~ 73.8%
			7	59.3% ~ 66.6%
6	-	5~△5P 増減 (3~△3P)	6	53.8% ~ 59.2%
			5	47.4% ~ 53.7%
4	直近年度 目標未達成	5P以上減少 (3P)	4	41.3% ~ 47.3%
			3	34.9% ~ 41.2%
2	2年連続 目標未達成	10P以上減少 (5P)	2	27.7% ~ 34.8%
			1	~ 27.6%

※短大の趨勢評価は ( ) 内の数値になります。

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

VI 学生数関係

6. 推薦割合

<算定式>

$$\frac{\text{推薦等入学者数}}{\text{入学者数}}$$

【比率の意味】

入学者数に対する推薦等入学者数（附属校内部進学者、総合型選抜を含む）の割合を示した比率です。  
 安定的な学生確保の観点から推薦等の占める割合が多い方をここでは高評価としています  
 が、著しく割合が多い場合には注意が必要です。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2023- 2019	対2019年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	
推薦割合(j)/(i)	58.1%	56.1%	61.0%	57.1%	56.5%	-1.6P	/	2	6	5	
推薦等入学者数(j)	118人	92人	125人	105人	108人	-10人					-8.5%
入学者数(i)	203人	164人	205人	184人	191人	-12人					-5.9%

評価表

点	絶対評価 目標	趨勢評価※ (P:ポイント)	点	相対評価
	60.6%			
10	2年連続 目標達成	10P以上増加 (5P)	10	83.7% ~
			9	75.3% ~ 83.6%
8	直近年度 目標達成	5P以上増加 (3P)	8	69.2% ~ 75.2%
			7	62.6% ~ 69.1%
6	-	5~△5P 増減 (3~△3P)	6	57.4% ~ 62.5%
			5	50.6% ~ 57.3%
4	直近年度 目標未達成	5P以上減少 (3P)	4	44.5% ~ 50.5%
			3	38.8% ~ 44.4%
2	2年連続 目標未達成	10P以上減少 (5P)	2	29.7% ~ 38.7%
			1	~ 29.6%

※短大の趨勢評価は ( ) 内の数値になります。

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

## 1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

### VI 学生数関係

#### 7. 入学定員充足率

<算定式>

$$\frac{\text{入学者数}}{\text{入学定員}}$$

【比率の意味】

入学定員に対する入学者数の割合を示した比率です。  
大学においては、収入の7～8割を学納金が占めていることや、定員に合わせて設置基準上の教員組織を整えなければならないことなどから、入学定員充足状況は重要な指標となります。

#### 8. 収容定員充足率

<算定式>

$$\frac{\text{在籍者数}}{\text{収容定員}}$$

【比率の意味】

収容定員に対する在籍者数の割合を示した比率です。  
一般には100%に近づくほど良いと考えられます。この数値が特に低い状況が続く場合には、学生募集状況が悪化している場合があるため注意する必要があります。

※比率の計算は小数第2位以下を切り捨てています。

評価表

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2023- 2019	対2019年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	点	絶対評価※		趨勢評価 (P:ポイント)		点	相対評価	
												入定充足率	収定充足率	入定充足率	収定充足率		入定充足率	収定充足率
<b>入学定員充足率(i)/(f)</b>	88.2%	71.3%	102.5%	92.0%	87.6%	-0.6P	/											
入学者数(i)	203人	164人	205人	184人	191人	-12人	-5.9%	4	6	4	10	110%以上	110%以上	10P以上増加	10P以上増加	10	113.9% ~	110.9% ~
入学定員(f)	230人	230人	200人	200人	218人	-12人	-5.2%				8	100%以上 110%未満	100%以上 110%未満	5P以上増加	5P以上増加	9	107.7% ~ 113.8%	107.1% ~ 110.8%
											7	90%以上 100%未満	90%以上 100%未満	5~△5P 増減	5~△5P 増減	8	103.9% ~ 107.6%	104.9% ~ 107.0%
											6	70%以上 90%未満	70%以上 90%未満	5P以上減少	5P以上減少	5	101.4% ~ 103.8%	102.6% ~ 104.8%
											6	90%以上 100%未満	90%以上 100%未満	5~△5P 増減	5~△5P 増減	6	98.1% ~ 101.3%	99.7% ~ 102.5%
											5	70%以上 90%未満	70%以上 90%未満	5P以上減少	5P以上減少	5	91.8% ~ 98.0%	95.1% ~ 99.6%
<b>収容定員充足率(k)/(l)</b>	84.5%	83.1%	93.8%	92.0%	87.1%	+2.6P	/				4	70%以上 90%未満	70%以上 90%未満	5P以上減少	5P以上減少	4	85.0% ~ 91.7%	89.3% ~ 95.0%
在籍者数(k)	778人	765人	751人	736人	760人	-18人	-2.3%	4	6	3	4	70%以上 90%未満	70%以上 90%未満	5P以上減少	5P以上減少	3	74.6% ~ 84.9%	83.6% ~ 89.2%
収容定員(l)	920人	920人	800人	800人	872人	-48人	-5.2%				2	70%未満	70%未満	10P以上減少	10P以上減少	2	62.6% ~ 74.5%	72.0% ~ 83.5%
											1	70%未満	70%未満	10P以上減少	10P以上減少	1	~ 62.5%	~ 71.9%

※絶対評価は直近年度で判断しています。

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

## 1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

### VI 学生数関係

#### 9. 中途退学者率

<算定式>

$$\frac{\text{中途退学者数}}{\text{在籍者数}}$$

#### 【比率の意味】

在籍者数に対する中途退学者数の割合を示した比率です。学校法人の場合は、学生数によって収入のほとんどが決まるため、入学した学生数を卒業までどれだけ維持しているかということも重要な要素となります。例えば入学定員充足率が良くても、中途退学者率が極端に高ければ、それだけ学生数が減少していくこととなります。また、中途退学者が多いということは、学校に対する満足度が低い可能性も考えられます。早期に原因を分析し、改善しなければ将来的に学校全体に対する評価の悪化を招くことにもなりかねませんので注意が必要です。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	
中途退学者率 (m) / (k)	5.8%	3.0%	4.2%	4.7%	4.6%	-1.2P	/	2	10	2	
中途退学者数 (m)	45人	23人	32人	35人	34人	-11人					-24.4%
在籍者数 (k)	770人	778人	765人	751人	736人	-34人					-4.4%

評価表

点	絶対評価 目標	趨勢評価 (P:ポイント)	点	相対評価
	2.4%			
10	2年連続 目標達成	1P以上減少	10	1.0% ~
			9	1.4% ~ 1.1%
8	直近年度 目標達成	0.5P以上減少	8	1.8% ~ 1.5%
			7	2.2% ~ 1.9%
6	—	0.5~△0.5P 増減	6	2.5% ~ 2.3%
			5	2.9% ~ 2.6%
4	直近年度 目標未達成	0.5P以上増加	4	3.5% ~ 3.0%
			3	4.1% ~ 3.6%
2	2年連続 目標未達成	1P以上増加	2	5.1% ~ 4.2%
			1	~ 5.2%

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

## 1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

### VI 学生数関係

#### 10. 奨学費割合

##### <算定式>

(奨学費支出 - 修学支援事業奨学費支出)

学生生徒等納付金収入

##### 【比率の意味】

学生生徒等納付金に対し、授業料等の減免額である奨学費の割合を示した比率です。経済的に修学困難な学生の救済や成績、スポーツ優秀者に対する支援等様々な目的があり、学生確保の点で効果は認められるものの、割合が高くなりすぎると経営的に問題が生ずる場合があります。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

【単位】百万円 評価表

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022-2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	絶対評価		相対評価	
											点	目標	趨勢評価 (P:ポイント)	点
<b>奨学費割合 (n) / (o)</b>	15.5%	15.0%	15.2%	18.4%	16.0%	+0.5P	/				10	4.3%	10	0.5% ~
											9		9	1.0% ~ 0.6%
											8		8	1.5% ~ 1.1%
											7		7	2.0% ~ 1.6%
奨学費支出 (n)	134	147	155	175	153	19	14.5%	2	4	1	6	0.5~△0.5P 増減	6	2.6% ~ 2.1%
											5		5	3.6% ~ 2.7%
											4		4	5.3% ~ 3.7%
											3		3	7.2% ~ 5.4%
学生生徒等納付金収入 (o)	860	986	1,020	952	954	95	11.0%				2		2	12.2% ~ 7.3%
											1		1	~ 12.3%

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

## 1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

### Ⅶ 教職員関係

#### 1.1 「専任教員1人当たり学生数」及び「専任職員1人当たり学生数」

<算定式>

在籍者数

「専任教員数」または「専任職員数」

【比率の意味】

1人の専任教員（または専任職員）で何人の学生を担当しているかを示す比率です。

「専任教員1人当たり学生数」は、比率が少なすぎると、教育研究面ではよいですが経営的には収支を圧迫させます。また、「専任職員1人当たり学生数」は業務のアウトソーシングや専任を非常勤にすることで改善しますが、質の確保の点にも十分な配慮が必要です。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2023- 2019	対2019年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
在籍者数(k)	778人	765人	751人	736人	760人	-18人	-2.3%	2	4	3
専任教員1人当たり学生数(k) / (p)	13.6人	13.7人	12.3人	12.1人	12.9人	-0.8人	-5.6%			
専任教員数(p)	57人	56人	61人	61人	59人	2人	3.5%	2	6	6
専任職員1人当たり学生数(k) / (r)	35.4人	34.8人	31.3人	33.5人	34.5人	-0.8人	-2.3%			
専任職員数(r)	22人	22人	24人	22人	22人	0人	0.0%			

評価表

点	絶対評価 目標		趨勢評価 (%)		点	相対評価 (人)	
	在籍者/教員	在籍者/職員	在籍者/教員	在籍者/職員		在籍者/教員	在籍者/職員
	30.0	40.5					
10	2年連続 目標達成	2年連続 目標達成	10%以上 増加	10%以上 増加	10	34.5 ~	54.8 ~
					9	29.4 ~ 34.4	45.6 ~ 54.7
8	直近年度 目標達成	直近年度 目標達成	5%以上 増加	5%以上 増加	8	24.9 ~ 29.3	39.7 ~ 45.5
					7	21.7 ~ 24.8	35.7 ~ 39.6
6	-	-	5~△5% 増減	5~△5% 増減	6	19.1 ~ 21.6	31.7 ~ 35.6
					5	16.3 ~ 19.0	28.2 ~ 31.6
4	直近年度 目標未達成	直近年度 目標未達成	5%以上 減少	5%以上 減少	4	13.7 ~ 16.2	24.4 ~ 28.1
					3	11.7 ~ 13.6	20.5 ~ 24.3
2	2年連続 目標未達成	2年連続 目標未達成	10%以上 減少	10%以上 減少	2	8.6 ~ 11.6	15.8 ~ 20.4
					1	~ 8.5	~ 15.7

※相対評価は大学(学校)の値となっています。



学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

## 1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

### Ⅶ 教職員関係

#### 1.2. 専任教員対非常勤教員割合

<算定式>

$$\frac{\text{非常勤教員数}}{\text{専任教員数}}$$

【比率の意味】

専任教員数に対する非常勤教員数の割合を示した比率です。学部構成と専任教員の数にもよりますが、教育内容や財務状態を勘案して、非常勤教員数の割合を考えることが大切です。ここでは非常勤教員数の割合が高いほうが財務的に支出が少ないとして、高い評価としています。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2023- 2019	対2019年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価
専任教員対非常勤教員割合 (q) / (p)	129.8%	141.1%	118.0%	119.7%	127.1%	-2.7P	/			
非常勤教員数 (q)	74人	79人	72人	73人	75人	1人	1.4%	2	6	5
専任教員数 (p)	57人	56人	61人	61人	59人	2人	3.5%			

評価表

点	絶対評価 目標	趨勢評価 (P:ポイント)	点	相対評価
	193.7%			
10	2年連続 目標達成	10P以上増加	10	293.2% ~
			9	228.9% ~ 293.1%
8	直近年度 目標達成	5P以上増加	8	193.3% ~ 228.8%
			7	160.1% ~ 193.2%
6	-	5~△5P 増減	6	139.0% ~ 160.0%
			5	115.2% ~ 138.9%
4	直近年度 目標未達成	5P以上減少	4	91.5% ~ 115.1%
			3	74.0% ~ 91.4%
2	2年連続 目標未達成	10P以上減少	2	51.6% ~ 73.9%
			1	~ 51.5%

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

## 1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

### Ⅶ 教職員関係

#### 1.3. 専任教員対専任職員割合

<算定式>

$$\frac{\text{専任職員数}}{\text{専任教員数}}$$

#### 【比率の意味】

専任教員数に対する専任職員数の割合を示した比率です。組織のあり方や業務のアウトソーシングにもよりますが、ここでは職員数が少ないほうが効率的に業務を行っているという観点から、値が少ないほうが高い評価としています。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増減 2023- 2019	対2019年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	
専任教員対専任職員割合(r)／(p)	38.6%	39.3%	39.3%	36.1%	37.3%	-1.3P	/	10	6	9	
専任教員数(p)	57人	56人	61人	61人	59人	2人					3.5%
専任職員数(r)	22人	22人	24人	22人	22人	0人					0.0%

評価表

点	絶対評価 目標	趨勢評価 (P:ポイント)	点	相対評価
	74.0%			
10	2年連続 目標達成	10P以上減少	10	33.9% ~
			9	43.3% ~ 34.0%
8	直近年度 目標達成	5P以上減少	8	48.8% ~ 43.4%
			7	53.7% ~ 48.9%
6	-	5~△5P 増減	6	59.3% ~ 53.8%
			5	67.1% ~ 59.4%
4	直近年度 目標未達成	5P以上増加	4	73.6% ~ 67.2%
			3	81.0% ~ 73.7%
2	2年連続 目標未達成	10P以上増加	2	94.6% ~ 81.1%
			1	~ 94.7%

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

Ⅶ 教職員関係

14. 「専任教員1人当たり人件費」及び「専任職員1人当たり人件費」 【比率の意味】

<算定式>

$$\frac{\text{人件費支出 本務教員給}}{\text{専任教員数}} \text{ または } \frac{\text{人件費支出 本務職員給}}{\text{専任職員数}}$$

本務教員給(または本務職員給)の額を専任教員数(または専任職員数)で除し、専任教員(専任職員)1人当たりの人件費支出を示したものです。この数値は平均値となるため、分析にあたっては、実際の給与額だけではなく年齢構成や本俸・手当の詳細にも注意する必要があります。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

【単位】百万円 評価表

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	絶対評価		趨勢評価		相対評価 (百万円)	
											目標					
											専任教員 人件費/人	専任職員 人件費/人	専任教員 人件費/人	専任職員 人件費/人	専任教員 人件費/人	専任職員 人件費/人
<b>専任教員1人当たり人件費(s) / (p)</b>	8.4	8.9	9.6	8.6	8.4	0.0	0.5%	10	6	7	10	10	10	10	6.9 ~	4.6 ~
人件費支出 本務教員給(s)	485	504	537	523	512	27.4	5.6%				8	8	8	8	7.6 ~ 7.0	5.3 ~ 4.7
専任教員数(p)	58人	57人	56人	61人	61人	3人	5.2%				6	6	6	6	8.3 ~ 7.7	5.9 ~ 5.4
<b>専任職員1人当たり人件費(t) / (r)</b>	6.3	6.8	7.0	5.8	6.5	0.3	4.2%	10	6	6	8	7	7	7	8.9 ~ 8.4	6.3 ~ 6.0
人件費支出 本務職員給(t)	132	150	154	140	144	12.1	9.2%				6	6	6	6	9.5 ~ 9.0	6.8 ~ 6.4
専任職員数(r)	21人	22人	22人	24人	22人	1人	4.8%				4	4	4	4	10.0 ~ 9.6	7.2 ~ 6.9
											4	3	3	3	10.9 ~ 10.1	7.8 ~ 7.3
											2	2	2	2	11.9 ~ 11.0	8.5 ~ 7.9
											2	1	1	1	13.3 ~ 12.0	9.4 ~ 8.6
															~ 13.4	~ 9.5

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

学校法人名	〇〇学園
学校名	〇〇学園大学

## 1-2 財務比率等に関するチェックリスト (学校単位)

### Ⅷ 経費関係

#### 15. 「学生1人当たり教育研究経費支出」及び「学生1人当たり管理経費支出」【比率の意味】

<算定式>

「教育研究経費支出」または「管理経費支出」

在籍者数

学生1人あたりにかけるコストを表します。財務的には支出を抑えることが望ましいですが、低すぎる場合には教育条件の悪化や、学生に対する十分な支援が実現できない恐れがあるため、注意が必要です。

※比率の計算は小数第2位以下を四捨五入しています。

【単位】千円 評価表

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	増減 2022- 2018	対2018年 度 伸び率 (%)	絶対 評価	趨勢 評価	相対 評価	絶対評価 目標		趨勢評価 (%)		点	相対評価 (千円)		
											教育研究経 費支出/人	管理経費 支出/人	教育研究経 費支出/人	管理経費 支出/人		教育研究経 費支出/人	管理経費 支出/人	
<b>学生1人当たり教育研究経費支出(u) / (k)</b>	444	552	519	536	533	89	20.0%	2	2	3	368	99	10%以上 減少	10%以上 減少	10	297 ~	58 ~	
教育研究経費支出(u)	342,205	429,070	397,014	402,233	392,630	50,425	14.7%				8	直近年度 目標達成	直近年度 目標達成	5%以上 減少	5%以上 減少	9	328 ~ 298	74 ~ 59
<b>学生1人当たり管理経費支出(v) / (k)</b>	74	96	95	90	92	18	24.6%	10	2	7	-	-	5~△5% 増減	5~△5% 増減	6	419 ~ 387	111 ~ 99	
管理経費支出(v)	57,050	74,487	72,379	67,856	67,943	10,893	19.1%				4	直近年度 目標 未達成	直近年度 目標 未達成	5%以上 増加	5%以上 増加	3	569 ~ 498	172 ~ 144
<b>在籍者数(k)</b>	770人	778人	765人	751人	736人	-34人	-4.4%				2	2年連続 目標 未達成	2年連続 目標 未達成	10%以上 増加	10%以上 増加	2	754 ~ 570	244 ~ 173
											1					1	~ 755	~ 245

※相対評価は大学(学校)の値となっています。

○参考1 2023年度版 財務比率等の階層区分(全体)

※財務は2022年度決算値、人数は2023年5月1日現在数。ただし、人数を使った比率のうち中途退学者率は2022年度実績。

大学法人

項目	集計数	第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層	第6階層	第7階層	第8階層	第9階層	第10階層
1 経常収支差額比率(%)	564	~-13.5	-13.4 ~ -8.0	-7.9 ~ -3.4	-3.3 ~ 0.1	0.2 ~ 1.9	2.0 ~ 3.8	3.9 ~ 5.5	5.6 ~ 8.4	8.5 ~ 12.3	12.4 ~
2 人件費比率(%)	564	~ 67.4	67.3 ~ 62.2	62.1 ~ 58.8	58.7 ~ 56.2	56.1 ~ 53.8	53.7 ~ 50.8	50.7 ~ 48.0	47.9 ~ 45.4	45.3 ~ 40.5	40.4 ~
3 人件費依存率(%)	564	~ 124.0	123.9 ~ 99.4	99.3 ~ 90.7	90.6 ~ 83.3	83.2 ~ 76.1	76.0 ~ 71.6	71.5 ~ 65.6	65.5 ~ 60.9	60.8 ~ 54.7	54.6 ~
4 教育活動資金収支差額比率(%)	564	~-3.5	-3.4 ~ 2.0	2.1 ~ 5.6	5.7 ~ 8.2	8.3 ~ 11.1	11.2 ~ 13.2	13.3 ~ 15.4	15.5 ~ 18.2	18.3 ~ 22.0	22.1 ~
5 積立率(%)	564	~ 20.7	20.8 ~ 33.9	34.0 ~ 45.6	45.7 ~ 55.7	55.8 ~ 67.7	67.8 ~ 76.5	76.6 ~ 89.5	89.6 ~ 99.3	99.4 ~ 116.3	116.4 ~
減価償却比率(%)	564	~ 68.6	68.5 ~ 64.1	64.0 ~ 61.3	61.2 ~ 58.7	58.6 ~ 56.9	56.8 ~ 53.9	53.8 ~ 51.6	51.5 ~ 48.0	47.9 ~ 43.8	43.7 ~
6 流動比率(%)	564	~ 111.6	111.7 ~ 153.3	153.4 ~ 200.0	200.1 ~ 238.0	238.1 ~ 275.5	275.6 ~ 324.3	324.4 ~ 388.4	388.5 ~ 476.7	476.8 ~ 661.6	661.7 ~

大学部門

項目	集計数	第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層	第6階層	第7階層	第8階層	第9階層	第10階層
1 経常収支差額比率(%)	612	~-22.9	-22.8 ~ -10.2	-10.1 ~ -3.7	-3.6 ~ 1.3	1.4 ~ 4.2	4.3 ~ 6.8	6.9 ~ 9.7	9.8 ~ 13.0	13.1 ~ 16.9	17.0 ~
2 人件費比率(%)	612	~ 69.4	69.3 ~ 61.4	61.3 ~ 55.9	55.8 ~ 52.9	52.8 ~ 50.8	50.7 ~ 48.0	47.9 ~ 45.7	45.6 ~ 43.0	42.9 ~ 39.5	39.4 ~
3 志願倍率(倍)	600	~ 1.00	1.01 ~ 1.34	1.35 ~ 1.64	1.65 ~ 1.93	1.94 ~ 2.39	2.40 ~ 2.93	2.94 ~ 4.11	4.12 ~ 6.16	6.17 ~ 9.52	9.53 ~
4 合格率(%)	600	~ 97.8	97.7 ~ 94.9	94.8 ~ 90.1	90.0 ~ 86.1	86.0 ~ 78.3	78.2 ~ 69.7	69.6 ~ 59.6	59.5 ~ 49.6	49.5 ~ 35.3	35.2 ~
5 歩留率(%)	600	~ 27.6	27.7 ~ 34.8	34.9 ~ 41.2	41.3 ~ 47.3	47.4 ~ 53.7	53.8 ~ 59.2	59.3 ~ 66.6	66.7 ~ 73.8	73.9 ~ 82.7	82.8 ~
6 推薦割合(%)	600	~ 29.6	29.7 ~ 38.7	38.8 ~ 44.4	44.5 ~ 50.5	50.6 ~ 57.3	57.4 ~ 62.5	62.6 ~ 69.1	69.2 ~ 75.2	75.3 ~ 83.6	83.7 ~
7 入学定員充足率(%)	600	~ 62.5	62.6 ~ 74.5	74.6 ~ 84.9	85.0 ~ 91.7	91.8 ~ 98.0	98.1 ~ 101.3	101.4 ~ 103.8	103.9 ~ 107.6	107.7 ~ 113.8	113.9 ~
8 取寄せ定員充足率(%)	600	~ 71.9	72.0 ~ 83.5	83.6 ~ 89.2	89.3 ~ 95.0	95.1 ~ 99.6	99.7 ~ 102.5	102.6 ~ 104.8	104.9 ~ 107.0	107.1 ~ 110.8	110.9 ~
9 中途退学者率(%)	597	~ 5.2	5.1 ~ 4.2	4.1 ~ 3.6	3.5 ~ 3.0	2.9 ~ 2.6	2.5 ~ 2.3	2.2 ~ 1.9	1.8 ~ 1.5	1.4 ~ 1.1	1.0 ~
10 奨学費割合(%)	612	~ 12.3	12.2 ~ 7.3	7.2 ~ 5.4	5.3 ~ 3.7	3.6 ~ 2.7	2.6 ~ 2.1	2.0 ~ 1.6	1.5 ~ 1.1	1.0 ~ 0.6	0.5 ~
11 専任教員1人当たり学生数(人)	618	~ 8.5	8.6 ~ 11.6	11.7 ~ 13.6	13.7 ~ 16.2	16.3 ~ 19.0	19.1 ~ 21.6	21.7 ~ 24.8	24.9 ~ 29.3	29.4 ~ 34.4	34.5 ~
12 専任教員対非常勤教員割合(%)	618	~ 51.5	51.6 ~ 73.9	74.0 ~ 91.4	91.5 ~ 115.1	115.2 ~ 138.9	139.0 ~ 160.0	160.1 ~ 193.2	193.3 ~ 228.8	228.9 ~ 293.1	293.2 ~
13 専任職員1人当たり学生数(人)	618	~ 15.7	15.8 ~ 20.4	20.5 ~ 24.3	24.4 ~ 28.1	28.2 ~ 31.6	31.7 ~ 35.6	35.7 ~ 39.6	39.7 ~ 45.5	45.6 ~ 54.7	54.8 ~
14 専任教員対専任職員割合(%)	618	~ 94.7	94.6 ~ 81.1	81.0 ~ 73.7	73.6 ~ 67.2	67.1 ~ 59.4	59.3 ~ 53.8	53.7 ~ 48.9	48.8 ~ 43.4	43.3 ~ 34.0	33.9 ~
15 専任教員1人当たり人件費(百万円)	612	~ 13.4	13.3 ~ 12.0	11.9 ~ 11.0	10.9 ~ 10.1	10.0 ~ 9.6	9.5 ~ 9.0	8.9 ~ 8.4	8.3 ~ 7.7	7.6 ~ 7.0	6.9 ~
16 専任職員1人当たり人件費(百万円)	612	~ 9.5	9.4 ~ 8.6	8.5 ~ 7.9	7.8 ~ 7.3	7.2 ~ 6.9	6.8 ~ 6.4	6.3 ~ 6.0	5.9 ~ 5.4	5.3 ~ 4.7	4.6 ~
17 学生1人当たり教育研究経費支出(千円)	612	~ 755	754 ~ 570	569 ~ 498	497 ~ 460	459 ~ 420	419 ~ 387	386 ~ 358	357 ~ 329	328 ~ 298	297 ~
18 学生1人当たり管理経費支出(千円)	612	~ 245	244 ~ 173	172 ~ 144	143 ~ 127	126 ~ 112	111 ~ 99	98 ~ 86	85 ~ 75	74 ~ 59	58 ~

短期大学法人

項目	集計数	第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層	第6階層	第7階層	第8階層	第9階層	第10階層
1 経常収支差額比率(%)	95	~-27.2	-27.1 ~ -17.5	-17.4 ~ -10.6	-10.5 ~ -7.3	-7.2 ~ -4.7	-4.6 ~ -2.1	-2.0 ~ 0.4	0.5 ~ 2.1	2.2 ~ 4.4	4.5 ~
2 人件費比率(%)	95	~ 74.7	74.6 ~ 70.7	70.6 ~ 68.1	68.0 ~ 65.5	65.4 ~ 62.0	61.9 ~ 59.8	59.7 ~ 56.6	56.5 ~ 53.5	53.4 ~ 48.1	48.0 ~
3 人件費依存率(%)	95	~ 176.2	176.1 ~ 154.1	154.0 ~ 131.3	131.2 ~ 122.9	122.8 ~ 114.6	114.5 ~ 102.7	102.6 ~ 96.9	96.8 ~ 93.7	93.6 ~ 69.9	69.8 ~
4 教育活動資金収支差額比率(%)	95	~-15.9	-15.8 ~ -7.8	-7.7 ~ -1.4	-1.3 ~ 1.1	1.2 ~ 4.7	4.8 ~ 8.2	8.3 ~ 10.3	10.4 ~ 12.2	12.3 ~ 14.7	14.8 ~
5 積立率(%)	95	~ 15.7	15.8 ~ 23.8	23.9 ~ 33.5	33.6 ~ 42.1	42.2 ~ 56.7	56.8 ~ 66.6	66.7 ~ 80.0	80.1 ~ 100.7	100.8 ~ 117.6	117.7 ~
減価償却比率(%)	95	~ 70.6	70.5 ~ 66.6	66.5 ~ 64.0	63.9 ~ 61.5	61.4 ~ 58.6	58.5 ~ 55.2	55.1 ~ 53.4	53.3 ~ 48.9	48.8 ~ 41.4	41.3 ~
6 流動比率(%)	95	~ 122.3	122.4 ~ 156.0	156.1 ~ 211.7	211.8 ~ 239.3	239.4 ~ 325.6	325.7 ~ 378.3	378.4 ~ 532.2	532.3 ~ 651.2	651.3 ~ 904.1	904.2 ~

短期大学部門

項目	集計数	第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層	第6階層	第7階層	第8階層	第9階層	第10階層
1 経常収支差額比率(%)	286	~-69.3	-69.2 ~ -44.4	-44.3 ~ -31.4	-31.3 ~ -24.0	-23.9 ~ -17.6	-17.5 ~ -13.4	-13.3 ~ -5.9	-5.8 ~ -0.1	0.0 ~ 8.3	8.4 ~
2 人件費比率(%)	286	~ 96.2	96.1 ~ 81.2	81.1 ~ 75.0	74.9 ~ 71.1	71.0 ~ 67.5	67.4 ~ 63.8	63.7 ~ 59.3	59.2 ~ 54.0	53.9 ~ 48.6	48.5 ~
3 志願倍率(倍)	280	~ 0.55	0.56 ~ 0.64	0.65 ~ 0.71	0.72 ~ 0.76	0.77 ~ 0.81	0.82 ~ 0.90	0.91 ~ 0.99	1.00 ~ 1.09	1.10 ~ 1.34	1.35 ~
4 合格率(%)	280	~ 100.0	100.0 ~ 100.0	99.9 ~ 100.0	99.9 ~ 99.5	99.4 ~ 98.9	98.8 ~ 98.1	98.0 ~ 96.6	96.5 ~ 94.3	94.2 ~ 88.8	88.7 ~
5 歩留率(%)	280	~ 66.1	66.2 ~ 81.7	81.8 ~ 87.5	87.6 ~ 91.0	91.1 ~ 93.2	93.3 ~ 95.2	95.3 ~ 96.7	96.8 ~ 98.3	98.4 ~ 99.0	99.1 ~
6 推薦割合(%)	280	~ 32.1	32.2 ~ 46.1	46.2 ~ 54.9	55.0 ~ 61.4	61.5 ~ 68.9	69.0 ~ 75.8	75.9 ~ 83.3	83.4 ~ 89.6	89.7 ~ 96.3	96.4 ~
7 入学定員充足率(%)	280	~ 44.0	44.1 ~ 54.3	54.4 ~ 60.0	60.1 ~ 66.0	66.1 ~ 70.6	70.7 ~ 76.3	76.4 ~ 81.9	82.0 ~ 89.0	89.1 ~ 98.5	98.6 ~
8 取寄せ定員充足率(%)	280	~ 49.3	49.4 ~ 58.1	58.2 ~ 65.0	65.1 ~ 69.4	69.5 ~ 74.8	74.9 ~ 80.0	80.1 ~ 85.3	85.4 ~ 91.5	91.6 ~ 98.7	98.8 ~
9 中途退学者率(%)	286	~ 6.6	6.5 ~ 5.5	5.4 ~ 4.8	4.7 ~ 4.2	4.1 ~ 3.7	3.6 ~ 3.1	3.0 ~ 2.6	2.5 ~ 2.1	2.0 ~ 1.5	1.4 ~
10 奨学費割合(%)	286	~ 13.3	13.2 ~ 8.7	8.6 ~ 6.8	6.7 ~ 4.7	4.6 ~ 3.3	3.2 ~ 2.5	2.4 ~ 1.8	1.7 ~ 1.1	1.0 ~ 0.4	0.3 ~
11 専任教員1人当たり学生数(人)	284	~ 6.5	6.6 ~ 8.2	8.3 ~ 10.0	10.1 ~ 11.0	11.1 ~ 12.1	12.2 ~ 13.3	13.4 ~ 15.0	15.1 ~ 16.7	16.8 ~ 19.1	19.2 ~
12 専任教員対非常勤教員割合(%)	284	~ 72.3	72.4 ~ 100.0	100.1 ~ 128.6	128.7 ~ 150.0	150.1 ~ 169.2	169.3 ~ 195.0	195.1 ~ 226.7	226.8 ~ 264.8	264.9 ~ 330.0	330.1 ~
13 専任職員1人当たり学生数(人)	284	~ 11.5	11.6 ~ 14.4	14.5 ~ 17.1	17.2 ~ 19.0	19.1 ~ 21.5	21.6 ~ 24.8	24.9 ~ 27.4	27.5 ~ 33.7	33.8 ~ 42.4	42.5 ~
14 専任教員対専任職員割合(%)	284	~ 92.3	92.2 ~ 80.0	79.9 ~ 71.1	71.0 ~ 62.5	62.4 ~ 54.5	54.4 ~ 50.0	49.9 ~ 45.5	45.4 ~ 37.5	37.4 ~ 27.3	27.2 ~
15 専任教員1人当たり人件費(百万円)	286	~ 10.7	10.6 ~ 9.5	9.4 ~ 8.9	8.8 ~ 8.3	8.2 ~ 7.6	7.5 ~ 6.9	6.8 ~ 6.5	6.4 ~ 6.1	6.0 ~ 5.4	5.3 ~
16 専任職員1人当たり人件費(百万円)	286	~ 8.3	8.2 ~ 7.4	7.3 ~ 6.7	6.6 ~ 6.3	6.2 ~ 5.9	5.8 ~ 5.6	5.5 ~ 5.2	5.1 ~ 4.9	4.8 ~ 4.2	4.1 ~
17 学生1人当たり教育研究経費支出(千円)	286	~ 665	664 ~ 531	530 ~ 489	488 ~ 427	426 ~ 397	396 ~ 369	368 ~ 343	342 ~ 312	311 ~ 283	282 ~
18 学生1人当たり管理経費支出(千円)	286	~ 291	290 ~ 220	219 ~ 170	169 ~ 149	148 ~ 132	131 ~ 115	114 ~ 97	96 ~ 81	80 ~ 62	61 ~

○参考2 2023年度版 財務比率等(学部等系統別)

※財務は2022年度決算値、人数は2023年5月1日現在数。ただし、人数を使った比率のうち中途退学者率は2022年度実績。

※系統区分については『今日の私学財政』の系統区分に基づく。数値は加重平均による算出。

大学法人(学部系統別)

系統名	複 数 学 部					単 一 学 部																	合計
	医歯他 複数	薬他 複数	理工他 複数	文他 複数	その他 複数	医・歯学部			薬学部	理工系学部			文系学部			その他系学部							
						医	歯	小計	薬	保健系	理・工・ 農学系	小計	人文科 学系	社会科 学系	小計	家政	教育	体育	芸術系	その他	小計		
集計法人数	36	32	174	134	25	3	3	6	6	34	13	47	15	26	41	7	9	5	20	22	63	564	
1 経常収支 差額比率 (%)	5.8	4.2	4.9	4.2	0.3	0.5	2.4	0.7	7.6	0.4	13.2	4.4	-5.8	4.6	2.7	-6.4	-6.8	-1.3	1.6	2.2	0.2	4.7	
2 人件費比率 (%)	40.5	49.3	50.4	52.1	58.4	38.4	46.6	39.4	40.3	51.3	42.8	48.6	63.0	48.7	51.3	65.0	63.8	51.4	51.6	53.9	54.4	46.1	
3 人件費依存率 (%)	198.1	65.3	67.3	70.9	80.3	1006.2	182.4	603.2	48.3	105.7	65.4	90.2	105.0	67.1	73.1	101.7	103.1	69.0	65.6	84.1	76.2	94.7	
4 教育活動資金 収支差額比率 (%)	10.7	13.3	14.3	13.1	10.1	6.6	9.9	7.0	21.0	9.1	16.7	11.3	1.3	13.1	10.9	4.5	4.1	11.7	11.9	7.2	9.2	12.0	
5 積立率 (%)	64.8	76.8	78.5	77.5	59.7	58.2	44.5	54.9	99.4	77.2	131.6	105.8	55.5	53.2	53.8	29.4	70.4	84.4	77.7	102.8	80.2	73.4	
減価償却比率 (%)	58.0	53.5	54.9	55.7	56.6	50.0	63.7	53.0	56.9	53.8	52.4	53.2	60.6	51.2	53.2	61.9	52.8	52.2	58.0	58.1	57.4	55.8	
6 流動比率 (%)	266.3	225.1	261.1	265.9	280.3	245.5	335.4	252.4	243.1	229.0	586.2	346.2	347.1	208.9	224.7	218.8	477.8	303.3	263.6	331.9	293.7	263.8	

大学部門(学部系統別)

系統名	複 数 学 部					単 一 学 部																	合計
	医歯他 複数	薬他 複数	理工他 複数	文他 複数	その他 複数	医・歯学部			薬学部	理工系学部			文系学部			その他系学部							
						医	歯	小計	薬	保健系	理・工・ 農学系	小計	人文科 学系	社会科 学系	小計	家政	教育	体育	芸術系	その他	小計		
財務集計学校数	33	35	176	142	25	5	4	9	7	47	14	3	64	17	29	46	9	10	5	24	27	75	612
人件費集計学校数	33	35	176	142	25	5	4	9	7	47	14	3	64	17	29	46	9	10	5	24	27	75	612
学生数集計学校数	34	35	180	138	25	5	4	9	7	46	11	3	60	16	26	42	9	11	5	22	23	70	600
中途退学者数集計学校数	34	35	174	141	25	5	4	9	7	46	11	3	60	16	26	42	9	11	5	23	22	70	597
教職員数集計学校数	34	35	180	139	27	5	4	9	7	46	14	3	63	17	30	47	9	11	5	24	28	77	618
1 経常収支 差額比率 (%)	-12.4	6.8	8.3	7.0	7.7	-64.6	-6.3	-48.1	10.0	2.1	1.0	6.8	2.0	-5.3	1.6	-0.5	-8.7	-5.1	5.7	7.3	5.8	5.4	2.7
2 人件費比率 (%)	62.0	46.0	46.6	48.0	50.3	115.4	66.2	101.5	37.9	54.7	45.5	40.1	51.7	59.9	48.4	51.9	57.9	58.6	45.3	46.7	47.5	47.9	50.9
3 志願倍率 (倍)	9.68	7.70	8.68	4.89	3.24	20.57	3.38	14.01	7.70	2.63	3.09	1.96	2.70	1.77	1.55	1.61	1.28	1.98	1.17	4.16	3.15	3.13	7.39
4 合格率 (%)	34.9	46.8	39.6	53.8	58.6	10.8	56.1	14.9	41.6	66.8	70.7	78.0	68.2	86.3	85.8	86.0	90.3	79.1	95.9	39.3	64.4	53.3	42.2
5 歩留率 (%)	32.0	28.7	30.6	39.3	48.5	48.3	47.7	48.1	34.1	55.3	40.2	67.7	51.7	49.8	64.6	59.8	71.6	60.5	84.1	68.0	48.5	61.3	33.5
6 推薦割合 (%)	48.8	50.2	51.7	60.6	55.5	17.0	31.9	22.0	41.8	53.8	58.7	28.7	53.6	54.0	57.9	56.9	66.4	67.9	56.2	46.0	58.7	53.8	53.2
7 入学定員 充足率 (%)	101.9	98.4	100.5	99.9	89.4	100.3	82.5	93.5	102.7	93.4	85.5	101.2	92.0	72.0	83.8	80.3	81.2	92.8	93.6	106.6	95.2	98.6	99.6
8 収容定員 充足率 (%)	102.9	97.8	101.8	102.2	93.3	102.7	89.3	97.2	101.7	96.6	94.4	99.1	96.3	85.7	92.4	90.4	82.5	89.9	94.6	106.8	99.3	99.9	101.1
9 中途退学者率 (%)	1.8	2.1	2.0	2.4	2.4	0.9	4.2	2.2	2.0	3.2	4.2	3.0	3.4	3.2	4.2	3.9	3.7	2.2	2.7	3.1	2.8	2.9	2.2
10 奨学費割合 (%)	2.6	3.1	3.1	4.3	3.1	0.8	2.7	1.5	3.2	1.4	4.9	8.1	2.5	6.4	10.3	9.3	3.8	3.2	5.9	2.3	8.5	4.4	3.3
11 専任教員1人当 たり学生数 (人)	10.2	22.6	26.3	30.0	18.0	2.1	3.3	2.4	22.1	12.5	16.5	18.5	13.4	16.0	20.6	19.1	13.5	18.8	24.2	20.9	18.9	19.7	20.3
12 専任教員対非常 勤教員割合 (%)	63.4	134.9	183.3	193.7	194.5	24.5	33.3	26.8	69.3	155.6	136.7	79.1	149.8	227.5	126.8	158.5	113.3	190.2	65.5	484.1	145.4	282.9	143.4
13 専任教員1人当 たり学生数 (人)	29.3	42.7	43.7	40.5	32.2	5.3	12.1	6.6	37.3	25.5	25.6	23.0	25.4	20.5	24.4	23.3	23.4	28.1	31.8	29.8	14.8	22.2	37.1
14 専任教員対専任 職員割合 (%)	34.9	52.9	60.2	74.0	56.1	39.0	27.1	35.9	59.2	48.8	64.3	80.2	52.6	78.1	84.2	82.3	57.8	66.9	76.3	69.9	127.5	88.6	54.6
15 専任教員1人当 たり人件費 (百万円)	10.7	11.3	12.0	11.2	9.0	15.1	9.2	13.5	12.1	8.7	10.4	6.8	9.0	8.4	8.0	8.1	7.2	8.8	9.7	9.5	9.6	9.3	11.2
16 専任職員1人当 たり人件費 (百万円)	7.5	7.8	8.5	7.8	7.0	6.0	6.3	6.0	8.6	6.8	6.7	5.5	6.7	6.1	5.8	5.9	5.9	6.9	6.9	7.9	6.8	7.2	7.9
17 学生1人当たり教育 研究経費支出 (千円)	780	501	455	368	380	2,586	1,126	2,054	721	408	543	491	446	412	401	404	365	380	438	537	470	485	494
18 学生1人当たり管理 経費支出 (千円)	103	94	87	99	105	382	363	375	153	182	185	188	183	134	144	141	154	132	108	172	137	151	100

短期大学法人(学科系統別)

系統名	複 数 学 科			単 一 学 科											合計
	理工他 複数	文他 複数	その他 複数	理工系学科			文系学科			その他系学科					
				保健系	農工系	小計	人文系	社会系	小計	家政系	教育系	芸術系・ その他	小計		
集計法人数	12	18	21	3	4	7	4	5	9	3	20	5	28	95	
1 経常収支 差額比率 (%)	-0.7	-6.6	-2.5	-12.3	16.6	6.0	-18.1	5.5	0.5	-13.3	-6.2	-5.5	-6.4	-3.2	
2 人件費比率 (%)	55.7	61.0	62.4	59.2	49.8	53.2	71.3	56.7	59.8	60.6	63.8	56.9	61.5	60.1	
3 人件費依存率 (%)	83.0	104.9	119.1	82.3	116.4	99.5	138.0	89.1	97.9	88.7	128.6	90.4	112.2	45.0	
4 教育活動資金 収支差額比率 (%)	7.9	3.1	6.8	9.7	-13.0	-1.9	-4.1	12.1	8.6	1.0	4.8	3.7	4.2	5.2	
5 積立率 (%)	77.9	50.8	70.0	48.4	105.2	87.1	44.9	99.9	86.5	54.4	68.0	42.8	59.2	70.8	
6 減価償却比率 (%)	55.7	56.3	56.6	61.8	57.6	59.5	55.9	59.2	58.3	67.8	58.8	56.8	58.9	57.4	
流動比率 (%)	423.1	267.4	497.6	239.0	567.0	398.3	259.5	290.0	284.6	103.1	210.7	131.6	170.8	308.7	

短期大学部門(学科系統別)

系統名	複 数 学 科			単 一 学 科																	合計
	理工他 複数	文他 複数	その他 複数	理工系学科			文系学科			その他系学科											
				保健系	農工系	小計	人文系	社会系	小計	家政系	教育系	芸術系	その他	小計							
財務集計学校数	28	57	73	9	9	18	9	13	22	14	53	12	9	88	286						
人件費集計学校数	28	57	73	9	9	18	9	13	22	14	53	12	9	88	286						
学生数集計学校数	27	55	70	8	11	19	9	13	22	13	54	12	8	87	280						
中途退学者数集計学校数	30	58	72	9	9	18	9	13	22	13	53	12	8	86	286						
教職員数集計学校数	28	57	70	9	11	20	9	13	22	13	54	12	8	87	284						
1 経常収支差額比 率 (%)	-10.8	-13.1	-13.4	-15.6	-43.6	-28.7	-2.0	-17.5	-9.3	-34.4	-17.7	-7.9	-4.2	-16.1	-14.0						
2 人件費比率 (%)	61.8	65.4	63.2	67.4	78.8	72.7	53.7	65.4	59.2	70.9	65.8	58.1	57.1	63.8	63.9						
3 志願倍率 (倍)	1.00	0.95	0.88	1.28	1.50	1.41	0.96	1.56	1.22	0.68	0.78	1.33	1.05	0.87	0.95						
4 合格率 (%)	94.1	94.2	96.5	82.5	72.9	76.4	98.5	71.7	83.8	98.7	97.6	80.4	85.8	92.4	92.7						
5 歩留率 (%)	82.2	80.5	88.5	83.4	71.0	75.9	60.3	77.6	68.5	88.4	93.4	87.7	84.7	90.5	83.9						
6 推薦割合 (%)	72.4	64.8	76.8	71.9	50.1	59.6	71.0	51.4	60.6	56.0	64.4	55.3	79.6	63.9	68.8						
7 入学定員充足率 (%)	74.8	69.6	74.2	84.2	74.3	78.3	56.5	84.0	68.4	58.3	69.7	90.0	73.3	71.1	72.2						
8 収容定員充足率 (%)	79.4	72.9	77.8	90.1	78.3	83.2	62.6	83.9	71.9	63.0	74.0	94.0	74.7	75.1	76.1						

## 評価早見表【大学法人】

## 1. 経常収支差額比率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	0%未満が連続		直近年度は0%未満		直近年度は0%以上10%未満		直近年度は10%以上		10%以上を安定的に維持	
相対評価	～ -13.5%	-13.4% ～ -8.0%	-7.9% ～ -3.4%	-3.3% ～ 0.1%	0.2% ～ 1.9%	2.0% ～ 3.8%	3.9% ～ 5.5%	5.6% ～ 8.4%	8.5% ～ 12.3%	12.4% ～
趨勢評価	5ポイント以上減少		2.5ポイント以上減少		2.5～△2.5ポイント増減		2.5ポイント以上増加		5ポイント以上増加	

## 2. 人件費比率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	60%以上が連続		直近年度は60%以上		直近年度は50%以上60%未満		直近年度は50%未満		50%未満を安定的に維持	
相対評価	～ 67.4%	67.3% ～ 62.2%	62.1% ～ 58.8%	58.7% ～ 56.2%	56.1% ～ 53.8%	53.7% ～ 50.8%	50.7% ～ 48.0%	47.9% ～ 45.4%	45.3% ～ 40.5%	40.4% ～
趨勢評価	5ポイント以上増加		2.5ポイント以上増加		2.5～△2.5ポイント増減		2.5ポイント以上減少		5ポイント以上減少	

## 3. 人件費依存率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成	
相対評価	～ 124.0%	123.9% ～ 99.4%	99.3% ～ 90.7%	90.6% ～ 83.3%	83.2% ～ 76.1%	76.0% ～ 71.6%	71.5% ～ 65.6%	65.5% ～ 60.9%	60.8% ～ 54.7%	54.6% ～
趨勢評価	10ポイント以上増加		5ポイント以上増加		5～△5ポイント増減		5ポイント以上減少		10ポイント以上減少	

## 4. 教育活動資金収支差額比率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	0%未満が連続		直近年度は10%未満		直近年度は10%以上20%未満		直近年度は20%以上		20%以上を安定的に確保	
相対評価	～ -3.5%	-3.4% ～ 2.0%	2.1% ～ 5.6%	5.7% ～ 8.2%	8.3% ～ 11.1%	11.2% ～ 13.2%	13.3% ～ 15.4%	15.5% ～ 18.2%	18.3% ～ 22.0%	22.1% ～
趨勢評価	5ポイント以上減少		2.5ポイント以上減少		2.5～△2.5ポイント増減		2.5ポイント以上増加		5ポイント以上増加	

## 5. 積立率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	100%未満が連続		直近年度は100%未満		—		直近年度は100%以上		100%以上を安定的に維持	
相対評価	～ 20.7%	20.8% ～ 33.9%	34.0% ～ 45.6%	45.7% ～ 55.7%	55.8% ～ 67.7%	67.8% ～ 76.5%	76.6% ～ 89.5%	89.6% ～ 99.3%	99.4% ～ 116.3%	116.4% ～
趨勢評価	10ポイント以上減少		5ポイント以上減少		5～△5ポイント増減		5ポイント以上増加		10ポイント以上増加	

## 5-参考)減価償却比率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
相対評価	～ 68.6%	68.5% ～ 64.1%	64.0% ～ 61.3%	61.2% ～ 58.7%	58.6% ～ 56.9%	56.8% ～ 53.9%	53.8% ～ 51.6%	51.5% ～ 48.0%	47.9% ～ 43.8%	43.7% ～

## 6. 運用資産超過額対教育活動資金収支差額比

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	4年未満が連続		直近年度は4年未満		—		直近年度は4年以上		4年以上を安定的に維持	
趨勢評価	10%以上減少		5%以上減少		5～△5%増減		5%以上増加		10%以上増加	

## 7. 運用資産対教育活動資金収支差額比

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	4年未満が連続		直近年度は4年未満		—		直近年度は4年以上		4年以上を安定的に維持	
趨勢評価	10%以上減少		5%以上減少		5～△5%増減		5%以上増加		10%以上増加	

## 8. 流動比率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	100%未満が連続		直近年度は100%未満		直近年度は100%～200%		直近年度は200%以上		200%以上を安定的に維持	
相対評価	～ 111.6%	111.7% ～ 153.3%	153.4% ～ 200.0%	200.1% ～ 238.0%	238.1% ～ 275.5%	275.6% ～ 324.3%	324.4% ～ 388.4%	388.5% ～ 476.7%	476.8% ～ 661.6%	661.7% ～
趨勢評価	10ポイント以上減少		5ポイント以上減少		5～△5ポイント増減		5ポイント以上増加		10ポイント以上増加	

## 9. 外部負債超過額対教育活動資金収支差額比

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	10年超が連続		直近年度は10年超		—		直近年度は10年以内		10年以内を安定的に維持	
趨勢評価	10%以上増加		5%以上増加		5～△5%増減		5%以上減少		10%以上減少	



## 評価早見表【短大法人】

## 1. 経常収支差額比率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	0%未満が連続		直近年度は0%未満		直近年度は0%以上10%未満		直近年度は10%以上		10%以上を安定的に維持	
相対評価	～ -27.2%	-27.1% ～ -17.5%	-17.4% ～ -10.6%	-10.5% ～ -7.3%	-7.2% ～ -4.7%	-4.6% ～ -2.1%	-2.0% ～ 0.4%	0.5% ～ 2.1%	2.2% ～ 4.4%	4.5% ～
趨勢評価	5ポイント以上減少		2.5ポイント以上減少		2.5～△2.5ポイント増減		2.5ポイント以上増加		5ポイント以上増加	

## 2. 人件費比率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	60%以上が連続		直近年度は60%以上		直近年度は50%以上60%未満		直近年度は50%未満		50%未満を安定的に維持	
相対評価	～ 74.7%	74.6% ～ 70.7%	70.6% ～ 68.1%	68.0% ～ 65.5%	65.4% ～ 62.0%	61.9% ～ 59.8%	59.7% ～ 56.6%	56.5% ～ 53.5%	53.4% ～ 48.1%	48.0% ～
趨勢評価	5ポイント以上増加		2.5ポイント以上増加		2.5～△2.5ポイント増減		2.5ポイント以上減少		5ポイント以上減少	

## 3. 人件費依存率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成	
相対評価	～ 176.2%	176.1% ～ 154.1%	154.0% ～ 131.3%	131.2% ～ 122.9%	122.8% ～ 114.6%	114.5% ～ 102.7%	102.6% ～ 96.9%	96.8% ～ 93.7%	93.6% ～ 69.9%	69.8% ～
趨勢評価	10ポイント以上増加		5ポイント以上増加		5～△5ポイント増減		5ポイント以上減少		10ポイント以上減少	

## 4. 教育活動資金収支差額比率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	0%未満が連続		直近年度は10%未満		直近年度は10%以上20%未満		直近年度は20%以上		20%以上を安定的に確保	
相対評価	～ -15.9%	-15.8% ～ -7.8%	-7.7% ～ -1.4%	-1.3% ～ 1.1%	1.2% ～ 4.7%	4.8% ～ 8.2%	8.3% ～ 10.3%	10.4% ～ 12.2%	12.3% ～ 14.7%	14.8% ～
趨勢評価	5ポイント以上減少		2.5ポイント以上減少		2.5～△2.5ポイント増減		2.5ポイント以上増加		5ポイント以上増加	

## 5. 積立率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	100%未満が連続		直近年度は100%未満		—		直近年度は100%以上		100%以上を安定的に維持	
相対評価	～ 15.7%	15.8% ～ 23.8%	23.9% ～ 33.5%	33.6% ～ 42.1%	42.2% ～ 56.7%	56.8% ～ 66.6%	66.7% ～ 80.0%	80.1% ～ 100.7%	100.8% ～ 117.6%	117.7% ～
趨勢評価	10ポイント以上減少		5ポイント以上減少		5～△5ポイント増減		5ポイント以上増加		10ポイント以上増加	

## 5-参考)減価償却比率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
相対評価	～ 70.6%	70.5% ～ 66.6%	66.5% ～ 64.0%	63.9% ～ 61.5%	61.4% ～ 58.6%	58.5% ～ 55.2%	55.1% ～ 53.4%	53.3% ～ 48.9%	48.8% ～ 41.4%	41.3% ～

## 6. 運用資産超過額対教育活動資金収支差額比

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	2年未満が連続		直近年度は2年未満		—		直近年度は2年以上		2年以上を安定的に維持	
趨勢評価	10%以上減少		5%以上減少		5～△5%増減		5%以上増加		10%以上増加	

## 7. 運用資産対教育活動資金収支差額比

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	2年未満が連続		直近年度は2年未満		—		直近年度は2年以上		2年以上を安定的に維持	
趨勢評価	10%以上減少		5%以上減少		5～△5%増減		5%以上増加		10%以上増加	

## 8. 流動比率

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	100%未満が連続		直近年度は100%未満		直近年度は100%～200%		直近年度は200%以上		200%以上を安定的に維持	
相対評価	～ 122.3%	122.4% ～ 156.0%	156.1% ～ 211.7%	211.8% ～ 239.3%	239.4% ～ 325.6%	325.7% ～ 378.3%	378.4% ～ 532.2%	532.3% ～ 651.2%	651.3% ～ 904.1%	904.2% ～
趨勢評価	10ポイント以上減少		5ポイント以上減少		5～△5ポイント増減		5ポイント以上増加		10ポイント以上増加	

## 9. 外部負債超過額対教育活動資金収支差額比

	2		4		6		8		10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
絶対評価	10年超が連続		直近年度は10年超		—		直近年度は10年以内		10年以内を安定的に維持	
趨勢評価	10%以上増加		5%以上増加		5～△5%増減		5%以上減少		10%以上減少	

1. 経常収支差額比率

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	0%未満が連続		直近年度は0%未満		直近年度は0%以上10%未満		直近年度は10%以上		10%以上を安定的に維持											
相対評価	~ 22.9%	22.8% ~ 10.2%	-10.1% ~ -3.7%	-3.6% ~ 1.3%	1.4% ~ 4.2%	4.3% ~ 6.8%	6.9% ~ 9.7%	9.8% ~ 13.0%	13.1% ~ 16.9%	17.0% ~										
趨勢評価	5ポイント以上減少		2.5ポイント以上減少		2.5~△2.5ポイント増減		2.5ポイント以上増加		5ポイント以上増加											

2. 人件費比率

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	60%以上が連続		直近年度は60%以上		直近年度は50%以上60%未満		直近年度は50%未満		50%未満を安定的に維持											
相対評価	~ 69.4%	69.3% ~ 61.4%	61.3% ~ 55.9%	55.8% ~ 52.9%	52.8% ~ 50.8%	50.7% ~ 48.0%	47.9% ~ 45.7%	45.6% ~ 43.0%	42.9% ~ 39.5%	39.4% ~										
趨勢評価	5ポイント以上増加		2.5ポイント以上増加		2.5~△2.5ポイント増減		2.5ポイント以上減少		5ポイント以上減少											

3. 志願倍率

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	2.5倍未満が連続		直近年度は2.5倍未満		直近年度は2.5倍以上		2.5倍以上を安定的に確保		5倍以上を安定的に確保											
相対評価	~ 1.00	1.01 ~ 1.34	1.35 ~ 1.64	1.65 ~ 1.93	1.94 ~ 2.39	2.40 ~ 2.93	2.94 ~ 4.11	4.12 ~ 6.16	6.17 ~ 9.52	9.53 ~										
趨勢評価	0.5ポイント以上減少		0.3ポイント以上減少		0.3~△0.3ポイント増減		0.3ポイント以上増加		0.5ポイント以上増加											

4. 合格率

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成											
相対評価	~ 97.8%	97.7% ~ 94.9%	94.8% ~ 90.1%	90.0% ~ 86.1%	86.0% ~ 78.3%	78.2% ~ 69.7%	69.6% ~ 59.6%	59.5% ~ 49.6%	49.5% ~ 35.3%	35.2% ~										
趨勢評価	10ポイント以上増加		5ポイント以上増加		5~△5ポイント増減		5ポイント以上減少		10ポイント以上減少											

5. 歩留率 6. 推薦割合

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成											
相対評価(5)	~ 27.6%	27.7% ~ 34.8%	34.9% ~ 41.2%	41.3% ~ 47.3%	47.4% ~ 53.7%	53.8% ~ 59.2%	59.3% ~ 66.6%	66.7% ~ 73.8%	73.9% ~ 82.7%	82.8% ~										
相対評価(6)	~ 29.6%	29.7% ~ 38.7%	38.8% ~ 44.4%	44.5% ~ 50.5%	50.6% ~ 57.3%	57.4% ~ 62.5%	62.6% ~ 69.1%	69.2% ~ 75.2%	75.3% ~ 83.6%	83.7% ~										
趨勢評価	10ポイント以上減少		5ポイント以上減少		5~△5ポイント増減		5ポイント以上増加		10ポイント以上増加											

7. 入学定員充足率 8. 収容定員充足率

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	70%未満		70%以上90%未満		90%以上100%未満		100%以上110%未満		110%以上											
相対評価(7)	~ 62.5%	62.6% ~ 74.5%	74.6% ~ 84.9%	85.0% ~ 91.7%	91.8% ~ 98.0%	98.1% ~ 101.3%	101.4% ~ 103.8%	103.9% ~ 107.6%	107.7% ~ 113.8%	113.9% ~										
相対評価(8)	~ 71.9%	72.0% ~ 83.5%	83.6% ~ 89.2%	89.3% ~ 95.0%	95.1% ~ 99.6%	99.7% ~ 102.5%	102.6% ~ 104.8%	104.9% ~ 107.0%	107.1% ~ 110.8%	110.9% ~										
趨勢評価	10ポイント以上減少		5ポイント以上減少		5~△5ポイント増減		5ポイント以上増加		10ポイント以上増加											

9. 中途退学者率 10. 奨学金割合

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成											
相対評価(9)	~ 5.2%	5.1% ~ 4.2%	4.1% ~ 3.6%	3.5% ~ 3.0%	2.9% ~ 2.6%	2.5% ~ 2.3%	2.2% ~ 1.9%	1.8% ~ 1.5%	1.4% ~ 1.1%	1.0% ~										
相対評価(10)	~ 12.3%	12.2% ~ 7.3%	7.2% ~ 5.4%	5.3% ~ 3.7%	3.6% ~ 2.7%	2.6% ~ 2.1%	2.0% ~ 1.6%	1.5% ~ 1.1%	1.0% ~ 0.6%	0.5% ~										
趨勢評価	1ポイント以上増加		0.5ポイント以上増加		0.5~△0.5ポイント増減		0.5ポイント以上減少		1ポイント以上減少											

11. 専任教員1人当たり学生数 13. 専任職員1人当たり学生数

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成											
相対評価(11)	~ 8.5	8.6 ~ 11.6	11.7 ~ 13.6	13.7 ~ 16.2	16.3 ~ 19.0	19.1 ~ 21.6	21.7 ~ 24.8	24.9 ~ 29.3	29.4 ~ 34.4	34.5 ~										
相対評価(13)	~ 15.7	15.8 ~ 20.4	20.5 ~ 24.3	24.4 ~ 28.1	28.2 ~ 31.6	31.7 ~ 35.6	35.7 ~ 39.6	39.7 ~ 45.5	45.6 ~ 54.7	54.8 ~										
趨勢評価	10%以上減少		5%以上減少		5~△5%増減		5%以上増加		10%以上増加											

12. 専任教員対非常勤教員割合

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成											
相対評価	~ 51.5%	51.6% ~ 73.9%	74.0% ~ 91.4%	91.5% ~ 115.1%	115.2% ~ 138.9%	139.0% ~ 160.0%	160.1% ~ 193.2%	193.3% ~ 228.8%	228.9% ~ 293.1%	293.2% ~										
趨勢評価	10ポイント以上増加		5ポイント以上増加		5~△5ポイント増減		5ポイント以上増加		10ポイント以上増加											

14. 専任教員対専任職員割合

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成											
相対評価	~ 94.7%	94.8% ~ 81.1%	81.0% ~ 73.7%	73.6% ~ 67.2%	67.1% ~ 59.4%	59.3% ~ 53.8%	53.7% ~ 48.9%	48.8% ~ 43.4%	43.3% ~ 34.0%	33.9% ~										
趨勢評価	10ポイント以上増加		5ポイント以上増加		5~△5ポイント増減		5ポイント以上減少		10ポイント以上減少											

15. 専任教員1人当たり人件費 16. 専任職員1人当たり人件費

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成											
相対評価(15)	~ 13.4	13.3 ~ 12.0	11.9 ~ 11.0	10.9 ~ 10.1	10.0 ~ 9.6	9.5 ~ 9.0	8.9 ~ 8.4	8.3 ~ 7.7	7.6 ~ 7.0	6.9 ~										
相対評価(16)	~ 9.5	9.4 ~ 8.6	8.5 ~ 7.9	7.8 ~ 7.3	7.2 ~ 6.9	6.8 ~ 6.4	6.3 ~ 6.0	5.9 ~ 5.4	5.3 ~ 4.7	4.6 ~										
趨勢評価	100万円以上増加		50万円以上増加		△50~50万円増減		50万円以上減少		100万円以上減少											

17. 学生1人当たり教育研究経費支出 18. 学生1人当たり管理経費支出

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10	
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成											
相対評価(17)	~ 755	754 ~ 570	569 ~ 498	497 ~ 460	459 ~ 420	419 ~ 387	386 ~ 358	357 ~ 329	328 ~ 298	297 ~										
相対評価(18)	~ 245	244 ~ 173	172 ~ 144	143 ~ 127	126 ~ 112	111 ~ 99	98 ~ 86	85 ~ 75	74 ~ 59	58 ~										
趨勢評価	10%以上増加		5%以上増加		5~△5%増減		5%以上減少		10%以上減少											

1. 経常収支差額比率

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	0%未満が連続		直近年度は0%未満		直近年度は0%以上10%未満		直近年度は10%以上		10%以上を安定的に維持																			
相対評価	~	-69.3%	-69.2%	~	-44.4%	-44.3%	~	-31.4%	-31.3%	~	-24.0%	-23.9%	~	-17.6%	-17.5%	~	-13.4%	-13.3%	~	-5.9%	-5.8%	~	-0.1%	0.0%	~	8.3%	8.4%	~
趨勢評価	5ポイント以上減少		2.5ポイント以上減少		2.5~△2.5ポイント増減		2.5ポイント以上増加		5ポイント以上増加																			

2. 人件費比率

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	60%以上が連続		直近年度は60%以上		直近年度は50%以上60%未満		直近年度は50%未満		50%未満を安定的に維持																			
相対評価	~	96.2%	96.1%	~	81.2%	81.1%	~	75.0%	74.9%	~	71.1%	71.0%	~	67.5%	67.4%	~	63.8%	63.7%	~	59.3%	59.2%	~	54.0%	53.9%	~	48.6%	48.5%	~
趨勢評価	5ポイント以上増加		2.5ポイント以上増加		2.5~△2.5ポイント増減		2.5ポイント以上減少		5ポイント以上減少																			

3. 志願倍率

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	1.5倍未満が連続		直近年度は1.5倍未満		直近年度は1.5倍以上		1.5倍以上を安定的に確保		2倍以上を安定的に確保																			
相対評価	~	0.55	0.56	~	0.64	0.65	~	0.71	0.72	~	0.76	0.77	~	0.81	0.82	~	0.90	0.91	~	0.99	1.00	~	1.09	1.10	~	1.34	1.35	~
趨勢評価	0.3ポイント以上減少		0.2ポイント以上減少		0.2~△0.2ポイント増減		0.2ポイント以上増加		0.2ポイント以上増加																			

4. 合格率

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成																			
相対評価	~	100.0%	100.0%	~	100.0%	99.9%	~	100.0%	99.9%	~	99.5%	99.4%	~	98.9%	98.8%	~	98.1%	98.0%	~	96.6%	96.5%	~	94.3%	94.2%	~	88.8%	88.7%	~
趨勢評価	5ポイント以上増加		3ポイント以上増加		3~△3ポイント増減		3ポイント以上減少		5ポイント以上減少																			

5. 歩留率 6. 推薦割合

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成																			
相対評価(5)	~	66.1%	66.2%	~	81.7%	81.8%	~	87.5%	87.6%	~	91.0%	91.1%	~	93.2%	93.3%	~	95.2%	95.3%	~	96.7%	96.8%	~	98.3%	98.4%	~	99.0%	99.1%	~
相対評価(6)	~	32.1%	32.2%	~	46.1%	46.2%	~	54.9%	55.0%	~	61.4%	61.5%	~	68.9%	69.0%	~	75.8%	75.9%	~	83.3%	83.4%	~	89.6%	89.7%	~	96.3%	96.4%	~
趨勢評価	5ポイント以上減少		3ポイント以上減少		3~△3ポイント増減		3ポイント以上増加		5ポイント以上増加																			

7. 入学定員充足率 8. 収容定員充足率

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	70%未満		70%以上90%未満		90%以上100%未満		100%以上110%未満		110%以上																			
相対評価(7)	~	44.0%	44.1%	~	54.3%	54.4%	~	60.0%	60.1%	~	66.0%	66.1%	~	70.6%	70.7%	~	76.3%	76.4%	~	81.9%	82.0%	~	89.0%	89.1%	~	98.5%	98.6%	~
相対評価(8)	~	49.3%	49.4%	~	58.1%	58.2%	~	65.0%	65.1%	~	69.4%	69.5%	~	74.8%	74.9%	~	80.0%	80.1%	~	85.3%	85.4%	~	91.5%	91.6%	~	98.7%	98.8%	~
趨勢評価	10ポイント以上減少		5ポイント以上減少		5~△5ポイント増減		5ポイント以上増加		10ポイント以上増加																			

9. 中途退学者率 10. 奨学金割合

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成																			
相対評価(9)	~	6.6%	6.5%	~	5.5%	5.4%	~	4.8%	4.7%	~	4.2%	4.1%	~	3.7%	3.6%	~	3.1%	3.0%	~	2.6%	2.5%	~	2.1%	2.0%	~	1.5%	1.4%	~
相対評価(10)	~	13.3%	13.2%	~	8.7%	8.6%	~	6.8%	6.7%	~	4.7%	4.6%	~	3.3%	3.2%	~	2.5%	2.4%	~	1.8%	1.7%	~	1.1%	1.0%	~	0.4%	0.3%	~
趨勢評価	1ポイント以上増加		0.5ポイント以上増加		0.5~△0.5ポイント増減		0.5ポイント以上減少		1ポイント以上減少																			

11. 専任教員1人当たり学生数 13. 専任職員1人当たり学生数

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成																			
相対評価(11)	~	6.5	6.6	~	8.2	8.3	~	10.0	10.1	~	11.0	11.1	~	12.1	12.2	~	13.3	13.4	~	15.0	15.1	~	16.7	16.8	~	19.1	19.2	~
相対評価(13)	~	11.5	11.6	~	14.4	14.5	~	17.1	17.2	~	19.0	19.1	~	21.5	21.6	~	24.8	24.9	~	27.4	27.5	~	33.7	33.8	~	42.4	42.5	~
趨勢評価	10%以上減少		5%以上減少		5~△5%増減		5%以上増加		10%以上増加																			

12. 専任教員対非常勤教員割合

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成																			
相対評価	~	72.3%	72.4%	~	100.0%	100.1%	~	128.6%	128.7%	~	150.0%	150.1%	~	169.2%	169.3%	~	195.0%	195.1%	~	226.7%	226.8%	~	264.8%	264.9%	~	330.0%	330.1%	~
趨勢評価	10ポイント以上増加		5ポイント以上増加		5~△5ポイント増減		5ポイント以上減少		10ポイント以上減少																			

14. 専任教員対専任職員割合

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成																			
相対評価	~	92.3%	92.2%	~	80.0%	79.9%	~	71.1%	71.0%	~	62.5%	62.4%	~	54.5%	54.4%	~	50.0%	49.9%	~	45.5%	45.4%	~	37.5%	37.4%	~	27.3%	27.2%	~
趨勢評価	10ポイント以上増加		5ポイント以上増加		5~△5ポイント増減		5ポイント以上減少		10ポイント以上減少																			

15. 専任教員1人当たり人件費 16. 専任職員1人当たり人件費

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成																			
相対評価(15)	~	10.7	10.6	~	9.5	9.4	~	8.9	8.8	~	8.3	8.2	~	7.6	7.5	~	6.9	6.8	~	6.5	6.4	~	6.1	6.0	~	5.4	5.3	~
相対評価(16)	~	8.3	8.2	~	7.4	7.3	~	6.7	6.6	~	6.3	6.2	~	5.9	5.8	~	5.6	5.5	~	5.2	5.1	~	4.9	4.8	~	4.2	4.1	~
趨勢評価	100万円以上増加		50万円以上増加		△50~50万円増減		50万円以上減少		100万円以上減少																			

17. 学生1人当たり教育研究経費支出 18. 学生1人当たり管理経費支出

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10									
絶対評価	目標を連続未達成		直近年度は目標未達成		—		直近年度は目標達成		目標を連続達成																			
相対評価(17)	~	665	664	~	531	530	~	489	488	~	427	426	~	397	396	~	369	368	~	343	342	~	312	311	~	283	282	~
相対評価(18)	~	291	290	~	220	219	~	170	169	~	149	148	~	132	131	~	115	114	~	97	96	~	81	80	~	62	61	~
趨勢評価	10%以上増加		5%以上増加		5~△5%増減		5%以上減少		10%以上減少																			

## 2. 管理運営等に関するチェックリスト

(大・短編)

◎ 下記の項目の内、当てはまると思う項目について、チェック欄に「○」を付ける。  
 ◎ チェック欄に「○」が付かない項目については、その原因を分析し、改善策を検討し実行することが必要である。

チェック欄	No.	主 な 項 目
1. ガバナンスの確立	1	理事長のリーダーシップのもと理事会が学校法人の最終的な決定機関として機能し、改革推進の中心的役割を果たしている
	2	理事・監事は善管注意義務や損害賠償責任を負うことを十分に理解し、適切な業務執行・監査を行っている
	3	一部の理事に権限が集中することなく、理事会の一体的な協力体制が維持できている
	4	理事（特に非常勤理事）が理事会の議題をあらかじめ理解できるよう事前に説明資料を送付するなど、議論が活発になるような工夫をしている
	5	理事会の決定方針を、全部門・全教職員に周知徹底している
	6	財務分析を毎期実施し、分析内容を理事会で共有するとともに、全教職員に対して学校法人の会計と財務の仕組みや自法人の財務状況を説明する機会を毎期十分に設けている
	7	外部理事を積極的に活用し、経営計画の策定過程で産業界や地域社会等の多様な意見を取り入れるなど、学校法人経営機能の強化を図っている
	8	学長のリーダーシップを支える体制（副学長、学長補佐、学長室スタッフ等）が整備され機能している
	9	評議員会から理事会の意思決定に関し適切なチェックを受けるとともに、多様な観点から法人運営に対して提言を行う諮問機関として機能している
	10	評議員が評議員会の議題をあらかじめ理解できるよう事前に説明資料を送付するなど、議論が活発になるような工夫をしている
	11	監事をサポートする体制が整備されており、自法人が抱える課題・外部環境等を踏まえた重点監査項目を設定し、毎期ごとの計画的な監査を実施している
	12	財務面だけでなく、学部学科の編成や学生生徒の募集計画、自己点検評価の稼働状況等について、適法性及び効率性、経営方針との整合性等の観点から監事の意見を聞く機会を十分に設けている
	13	業務が法令、規程に基づいて適正に行われていることをチェックするための内部統制組織を整えている
	14	使途不明・不正流用・二重帳簿作成などの不適正な会計処理が生じないように、十分なチェックを行っている
	該当する○の数は…	0/15
2. 経営理念と戦略の策定	16	建学の精神を時代に即した使命として確立し、全部門・全教職員に明示している
	17	経営環境（内部・外部）と経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報等）の変化を分析している
	18	教育、経営、財務情報を含む学内の様々なデータの入手・分析・管理等を行うIR（インスティテューショナル・リサーチ）を行う部署等を設けている
	19	外部機関等（弁護士、公認会計士、経営コンサルタント、所轄庁、私学事業団等）を活用し、指摘・助言内容を経営改善の参考としている
	20	経営戦略・中長期計画等を企画立案し、部門間の連絡調整等を行う組織を設置している
	21	経営環境・資源の分析や認証評価の結果を踏まえ、建学の精神に立脚した数値目標を含む具体的な経営戦略・中長期計画等を策定している
	22	策定段階から教職員に関与させるなど、経営戦略・中長期計画等を全教職員に周知・浸透させる工夫をしている
	23	経営戦略や中長期計画等を実現するための、適切な将来予測を踏まえた財務計画を立てている
該当する○の数は…	0/9	24 経営戦略・中長期計画・財務計画をもとに毎期の事業計画・予算を策定し、評価や見直しを行っている
3. 組織運営の円滑化	25	FD及びSDを計画的・体系的に実施し、その成果を検証して改善を行っている
	26	組織再編やアウトソーシングの活用等により、効率的な職務体制を構築している
	27	教職員からの意見を学校運営に反映させる仕組みを機能させている
	28	人事評価の基準、評価方法、評価結果の活用等について、定期的に見直しと改善を行いながら、人事考課を実施している
	該当する○の数は…	0/5

チェック欄	No.	主 な 項 目
4. リスク管理体制の構築	30	リスクの洗い出しを行い、リスクマネジメントや危機管理について議論している
	31	自然災害やサイバー攻撃等に対して、マニュアルや事業継続計画を策定するとともに、研修会や訓練を実施するなど、危機管理体制を整備している
	32	倫理綱領、行動規範等を作成し、ハラスメント防止及びコンプライアンスに取り組んでいる
	33	規程整備・窓口の周知等を始めたとした苦情申出や内部通報に適切に対応できる体制をとっている
	34	キャンパスのセキュリティ確保、個人情報保護等、学生の安全確保のための方策を十分に講じている
	該当する○の数は…	0/6
5. 財務体質の改善	36	収入の範囲内に支出を抑制するための予算管理、予算統制を実行している
	37	資金繰表等を作成し、キャッシュフローの動向を常に把握している
	38	学生募集体制の強化を図り、募集結果の評価や次年度に向けた体制の見直しを毎期行っている
	39	寄付金・競争的資金・事業収入等の外部資金を獲得するための努力を行っている
	40	人件費の適正化や経費の抑制・縮減のための具体的方策を立て、実行している
	41	公租公課、所定福利費、共済掛金等の滞納の恐れがない
該当する○の数は…	0/7	42 借入金について明確な返済計画を策定しており、滞りなく確実に返済が可能である
6. 教学内容の改善	43	建学の精神を踏まえた、教育方針やカリキュラムの見直しと充実を、教員・職員の協働により進めている
	44	FDによる教育機能の向上を図るとともに、実務経験のある教員の視点を活用するなどし、社会ニーズを踏まえた幅広い教育課程の充実化を図っている
	45	3つのポリシー（DP・CP・AP）を一貫性のあるものとし、それに基づいた教育の諸活動を実施するとともに、その結果の自己点検・評価とそれを踏まえた改善に取り組む、教育の内部保証システムが確立されている
	46	単位互換や留学制度等により、国内外の大学等との連携を進めている
7. 学生への支援	47	定期的に学生満足度調査を実施し、改善が求められる事項に対して速やかに対応するなど学生支援の充実に努めている
	48	面接指導やカウンセラーの設置等、学生のための相談窓口を整備している
	49	個別の学生の状況を把握し、中途退学や留年等を防ぐための有効な対策を実施している
	50	留学生について受け入れ基準を明確にし、学業成績の把握、出欠状況の確認等の適切な在籍管理を行っている
該当する○の数は…	0/5	51 1年次からのキャリア支援プログラムの設定、キャリアカウンセラーの常駐等、総合的なキャリア支援体制を整えている
8. 情報の公表と地域貢献	52	学生数、授業科目、授業の方法・内容や財務状況（小科目・内訳表の明示、科目等の説明など）を、大学ポータルサイトやホームページ等で一般に分かり易く公表している
	53	地域社会に貢献する大学等としての存在意義を発揮するため、地域への情報発信、交流、連携を積極的に進めている
該当する○の数は…	0/2	